

東日本大震災  
避難者アンケート調査  
集計結果

令和5年9月

山形県広域支援対策本部避難者支援班

## I 調査の概要

- 1 調査の目的 - 1 -
- 2 調査項目 - 1 -
- 3 調査設計 - 1 -

## II 調査結果

### 【回答者について】

回答者の性別、年齢、避難先の市町村 - 2 -

#### 1 世帯の現状について

- (1) 避難元の県・市町村、避難の理由 - 3 -
- (2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類 - 4 -

#### 2 山形での生活について

- (1) 「困っていること、不安なこと」について - 8 -
- (2) 生活資金について - 9 -
- (3) 主に生計を支えている方の就業状況について - 9 -
- (4) 避難者支援に関する情報で希望する内容について - 10 -
- (5) 新型コロナウイルス感染症による影響について - 11 -
- (6) 新型コロナウイルス感染症による影響について相談したいこと - 11 -

#### 3 今後の生活について

- (1) 今後の予定について - 12 -
- (2) 避難期間の見通しと帰還について - 13 -
- (3) 山形県内への定住について - 15 -

#### 4 心身の健康について

- (1) 心身の不調について - 18 -
- (2) 心身の不調に対する対応について - 19 -
- (3) 心身の健康に関する要望について - 20 -

#### 5 教育や子育てについて

- (1) 教育や子育てで困っていること、不安なことについて - 21 -
- (2) お子さんの預かり先について - 22 -
- (3) 教育や子育てに関する要望について - 23 -

#### 6 高齢者の生活について

- (1) 高齢者の生活で困っていること、不安なことについて - 24 -
- (2) 高齢者の地域活動等への参加意欲について - 25 -

#### 7 相談支援機関と相談交流について

- (1) 相談支援機関の利用状況 - 26 -
- (2) 相談支援機関への相談について - 27 -
- (3) 戸別訪問について - 29 -
- (4) 相談交流の参加状況 - 30 -

#### 8 県内で行っている避難者支援について

- (1) 山形県内での支援に対する評価 - 32 -
- (2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について - 33 -
- (3) 県内での避難者への支援として期待するもの - 34 -
- (4) 今後実施してほしい避難者支援事業 - 35 -

#### 9 自由記入欄

- (1) 避難元に対し県から伝えてもらいたいこと - 36 -
- (2) 政府に対し県から伝えてもらいたいこと - 36 -
- (3) その他、日頃から感じていることなど - 36 -

## III 参考資料

アンケート調査票

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

東日本大震災から12年が経過しましたが、現在も約1,200人の方々が本県での避難生活を続けています。

避難生活が長期化する中で、避難者の方々がどのようなニーズをもっているか、どのような支援を望んでいるか等を調査し、今後の避難者支援策に資することを目的として、アンケート調査を実施しました。

## 2 調査項目

- (1) 世帯の現状について
- (2) 山形での生活について
- (3) 今後の生活について
- (4) 心身の健康について
- (5) 教育や子育てについて
- (6) 高齢者の生活について
- (7) 相談支援機関と相談交流について
- (8) 県内で行っている避難者支援について

## 3 調査設計

- (1) 調査地域 : 山形県全域
- (2) 調査対象 : 東日本大震災により山形県内に避難されている425世帯
- (3) 調査方法 : 郵送によるアンケート調査  
(同封した返信用封筒又は「やまがたe申請」により回収)
- (4) 調査期間 : 令和5年6月下旬～7月下旬
- (5) 回答数 : 103世帯 (回収率:24.2%)  
※参考 令和4年度は461世帯に送付し、回収は116世帯 (回収率25.2%)

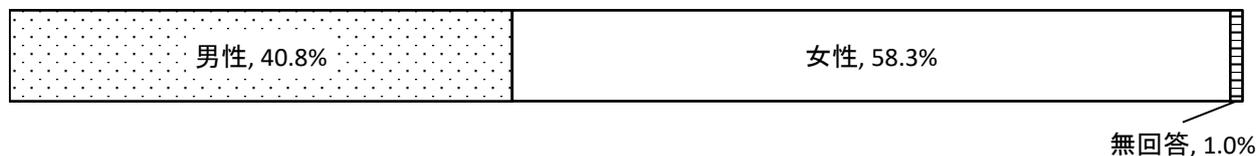
### ※ 注意点

- (1) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (2) 1つの質問で回答が複数ある場合、回答率が100%を超える場合があります。
- (3) データ数(n)の記載がない場合は、アンケートの回答数をデータ数としています。  
(R5はn=103、R4はn=116、R3はn=134)

## Ⅱ 調査結果

【回答者について】

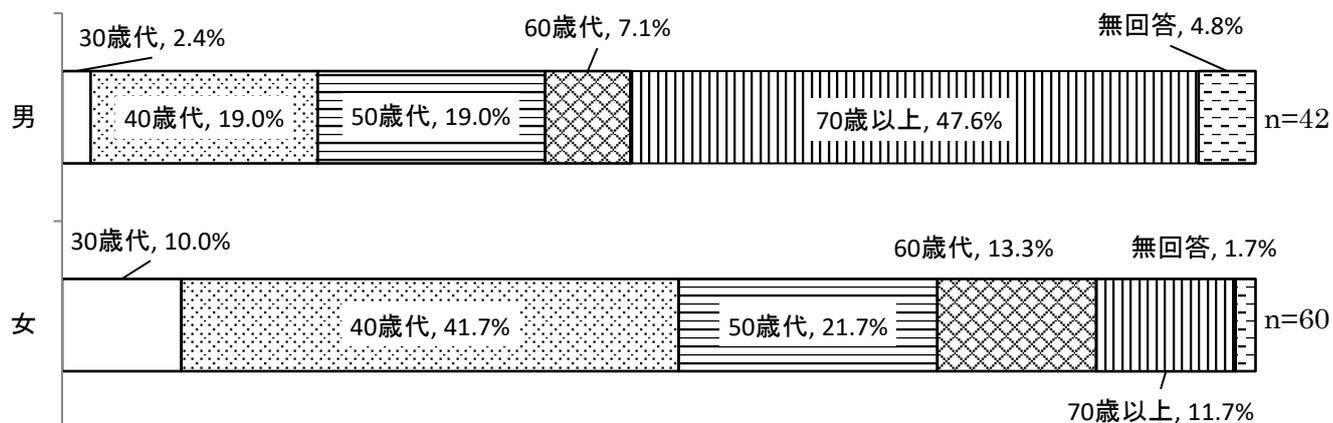
### 性別



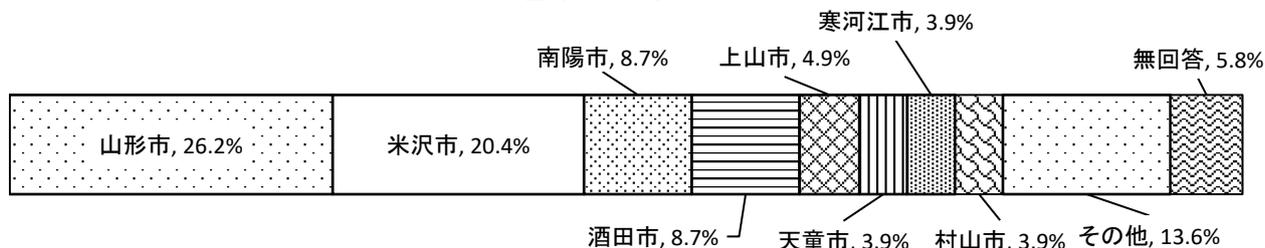
### 年齢



### 男女別年齢



### 避難先の市町村



回答者の性別は、男性が 40.8%、女性が 58.3%、無回答が 1.0%となっています。

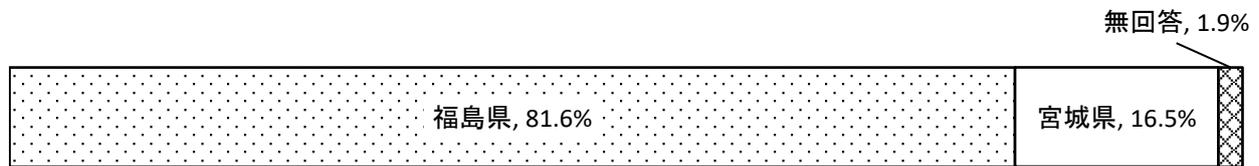
年齢別では多い順から、40 歳代 32.0%、70 歳以上 26.2%、50 歳代 20.4%で、男女別に見ると男性は 70 歳以上が 47.6%、女性は 40 歳代が 41.7%で最も多くなっています。

避難先の市町村は、山形市が 26.2%と最も多く、次いで米沢市、南陽市と酒田市が同率となっています。

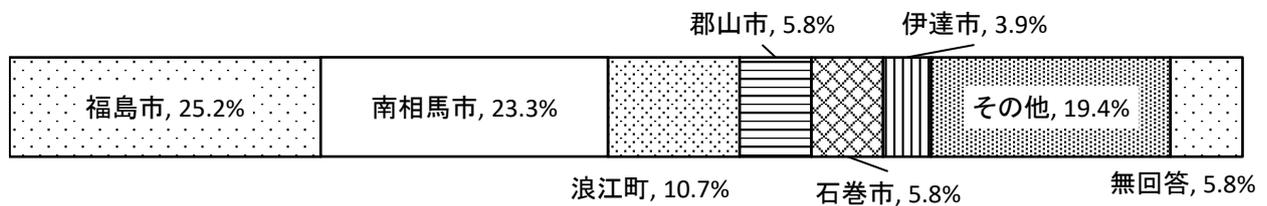
# 1 世帯の現状について

## (1) 避難元の県・市町村、避難の理由

### 避難元の県

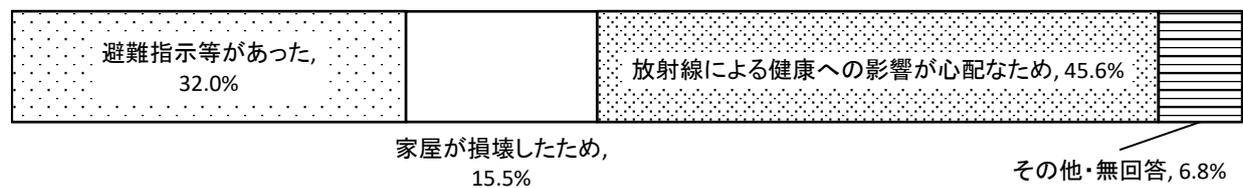


### 避難元の市町村



避難元については、福島県が81.6%、宮城県が16.5%でした。市町村別では、福島市が最多、次いで南相馬市、浪江町、郡山市、石巻市、伊達市の順となっています。

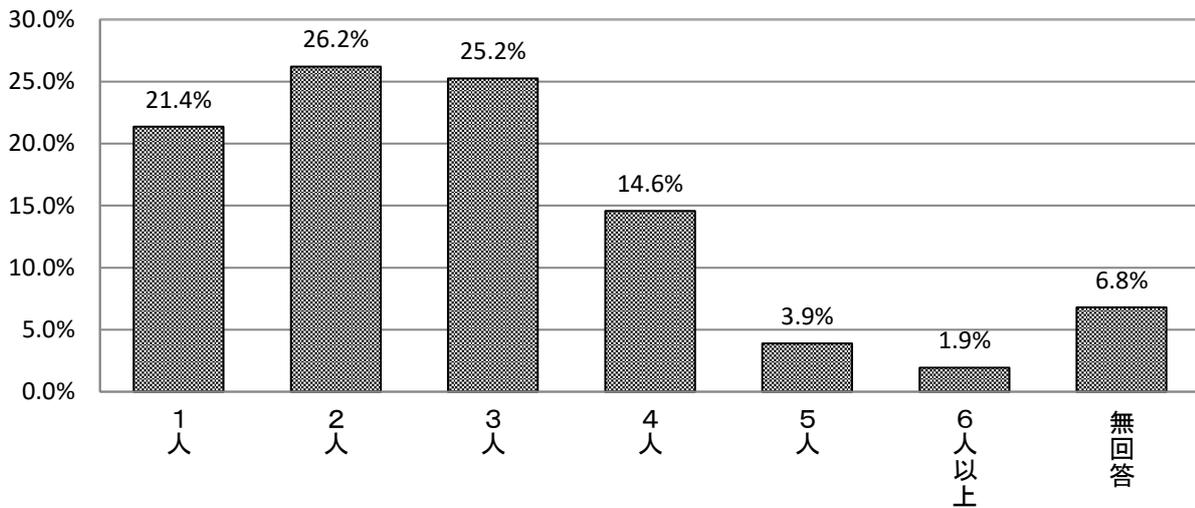
### 避難の理由



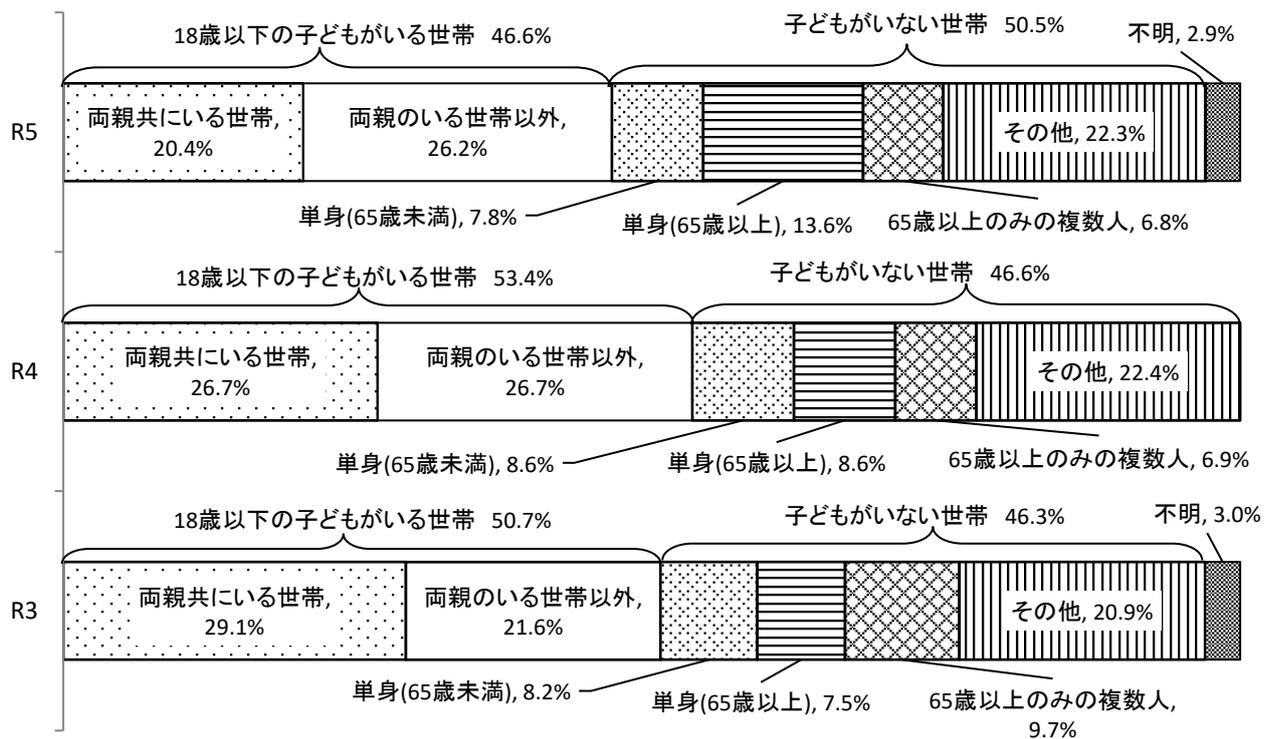
避難の理由は、「放射線による健康への影響が心配なため」が45.6%と最も多く、次いで「避難指示等があった」32.0%、「家屋が損壊したため」15.5%となっています。

(2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類

家族の人数

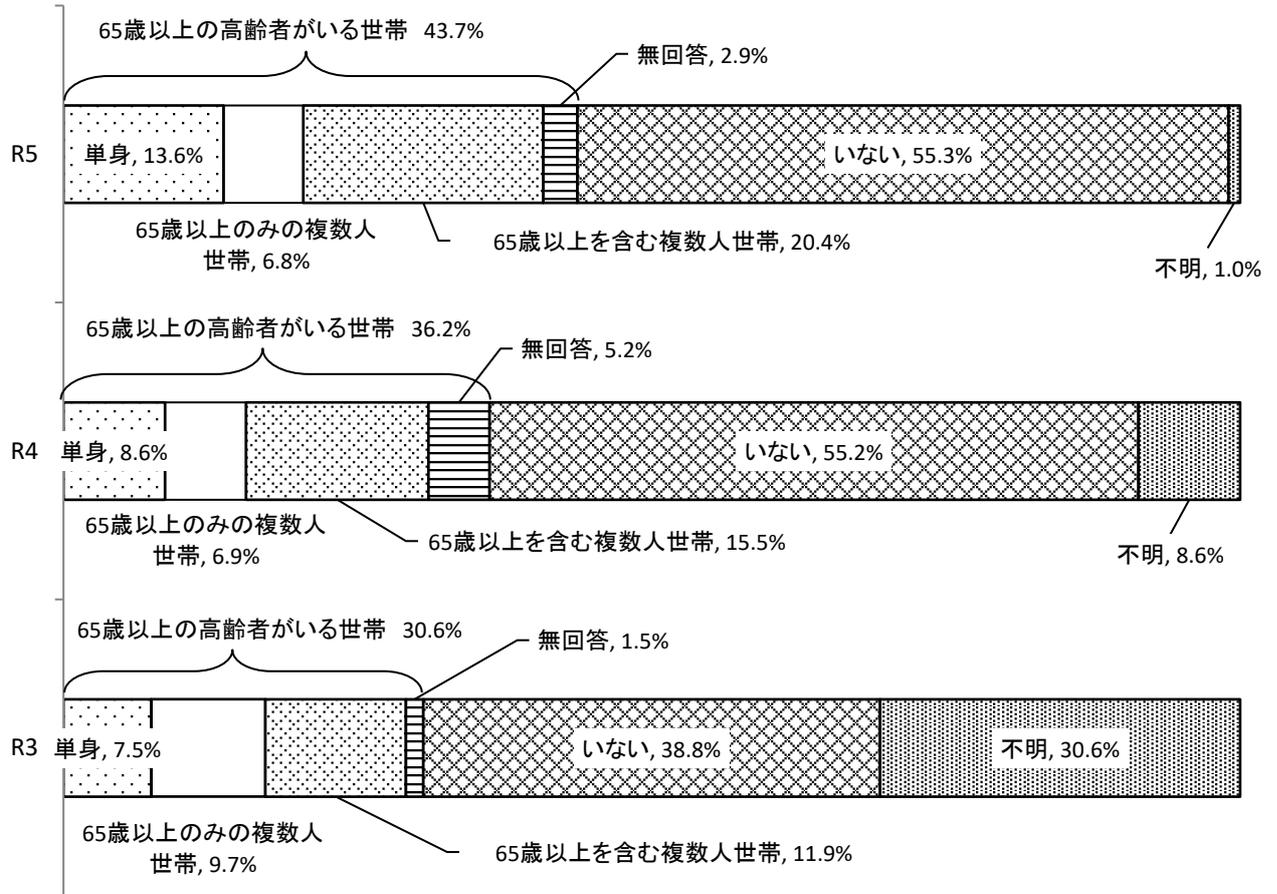


家族の構成(18歳以下の子どもの有無)



家族の構成は、2人家族が最も多く、1～3人家族が全体の約7割を占めています。18歳以下の子どもがいる世帯は46.6%、子どもがいない世帯は50.5%となっています。

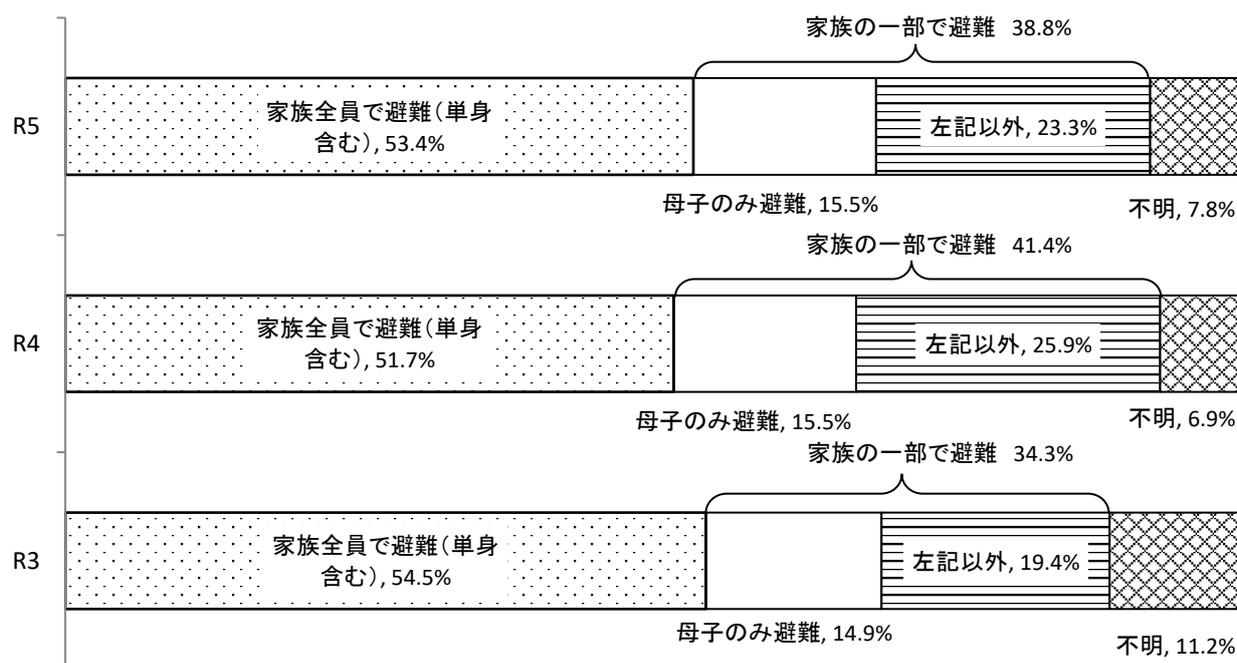
### 家族の構成(65歳以上の高齢者の有無)



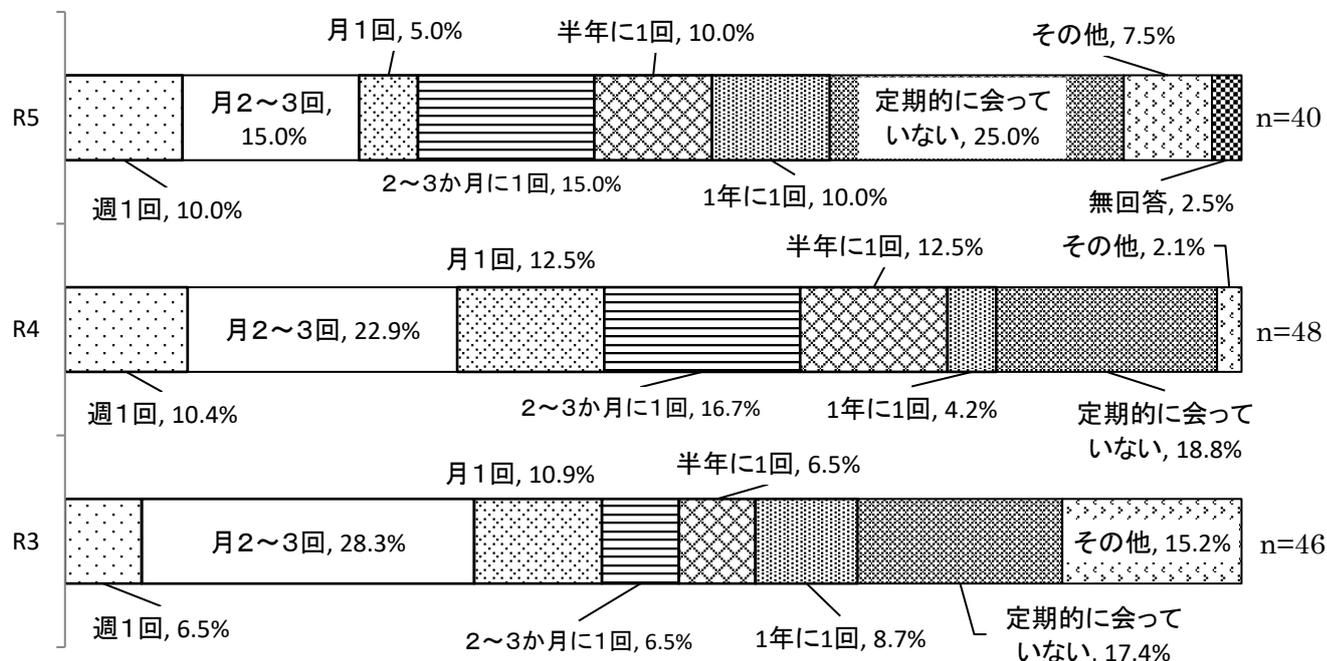
65歳以上の高齢者のいる世帯は43.7%となっており、うち単身者は13.6%、65歳以上の高齢者のみの複数人世帯は6.8%、65歳以上を含む複数人世帯は20.4%となっています。

また、65歳以上の高齢者のいる世帯の割合は年々増加しています。

## 避難の状況



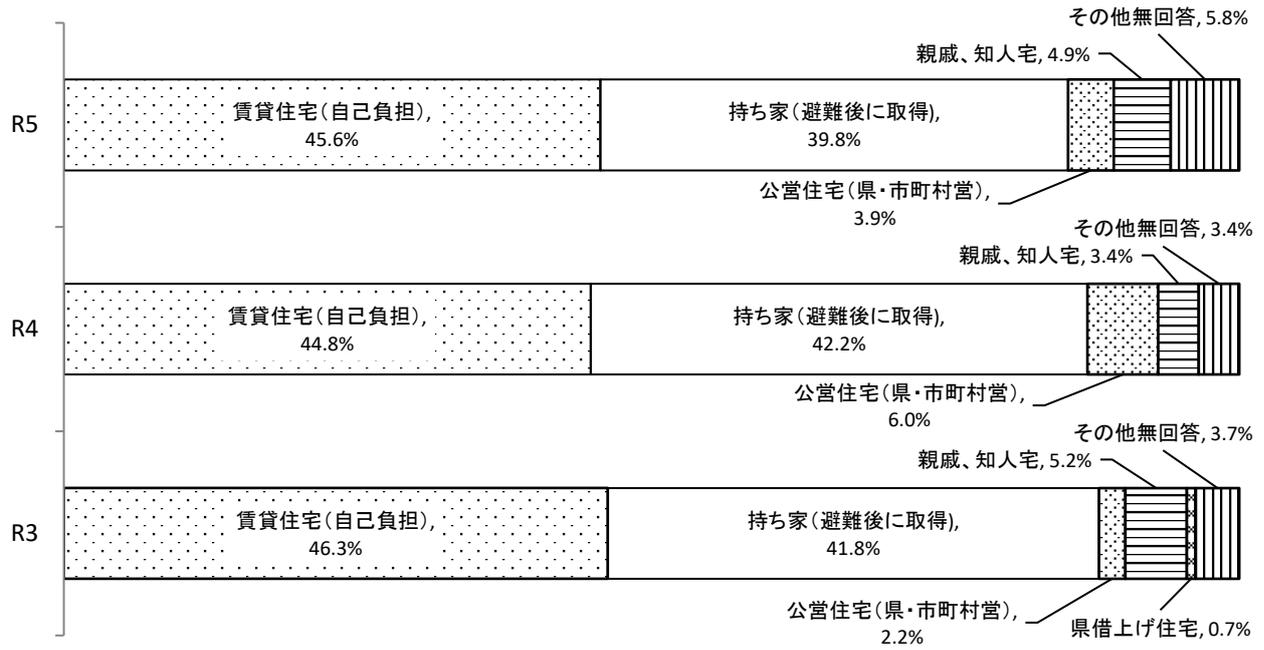
## 避難元の家族と会う頻度 (設問の対象者は家族の一部で避難された方)



避難の状況は、家族全員で避難している世帯が 53.4%、家族の一部で避難している世帯が 38.8% となっており、うち家族と離れて母子のみで避難している世帯は全体の 15.5% となっています。

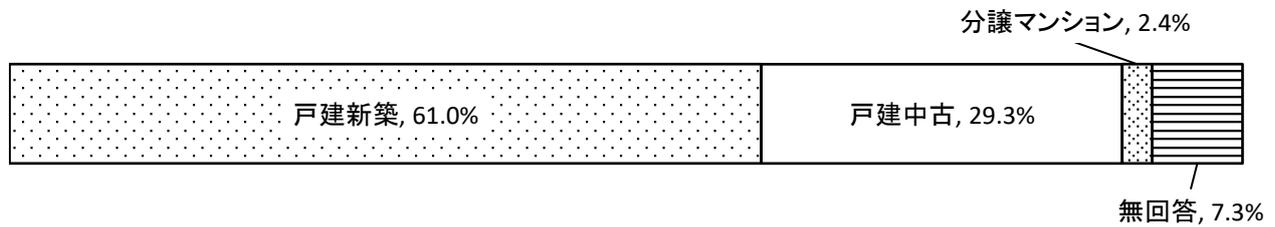
家族の一部で避難された方のうち、避難元の家族と会う頻度が月 1 回以上の世帯は全体の 3 割となっています。

## 避難している住宅の種類



## 持ち家(避難後に取得)と答えた方のお住まい

n=41



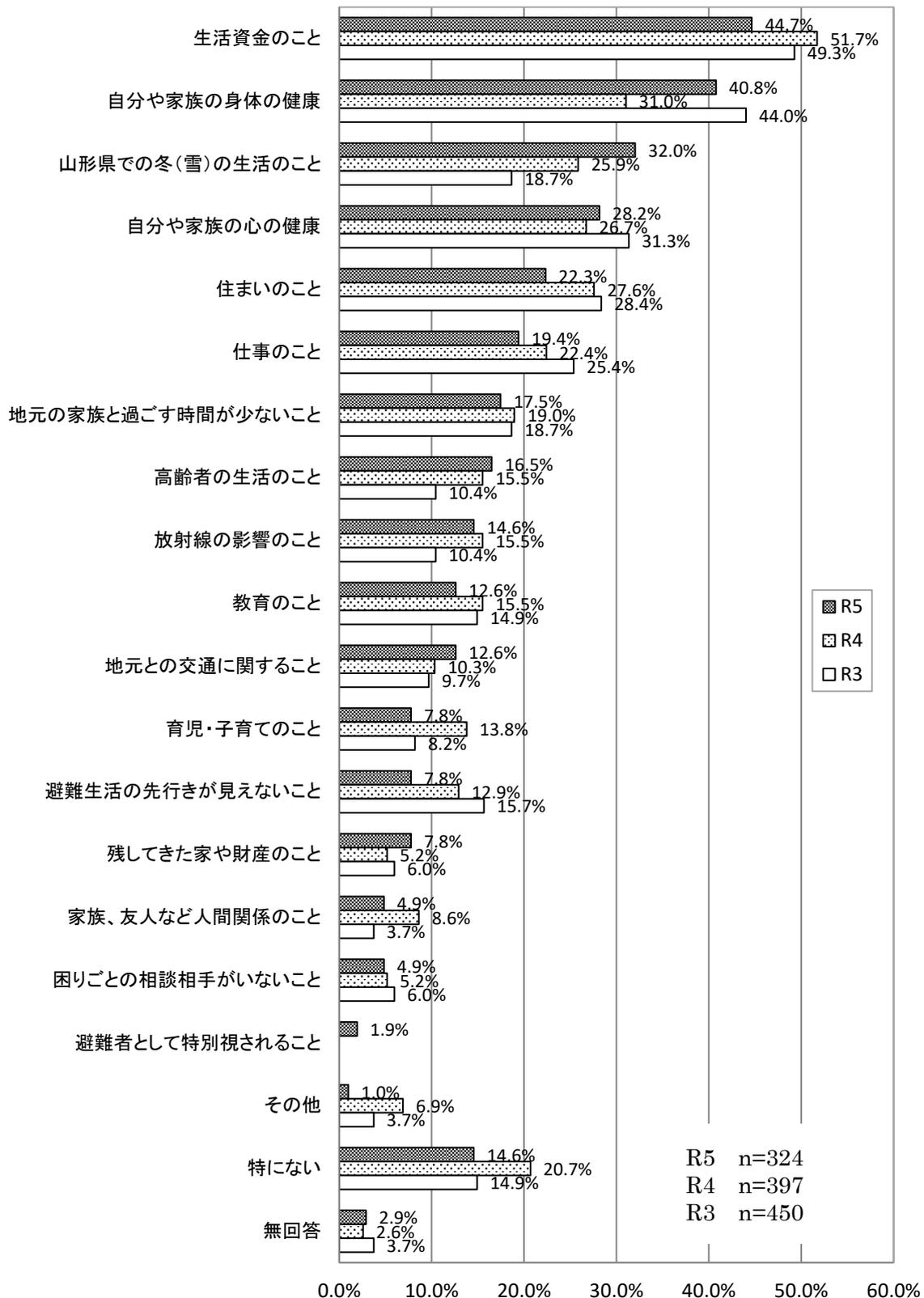
避難している住宅の種類は、多い順から「賃貸住宅(自己負担)」45.6%、「持ち家(避難後に取得)」39.8%、「親戚、知人宅」で4.9%となっています。

※平成29年3月で、避難指示区域以外の避難者への借上げ住宅の供与が終了

## 2 山形での生活について

### (1) 「困っていること、不安なこと」について

#### 今の生活で困っていること、不安なこと(5つまで)

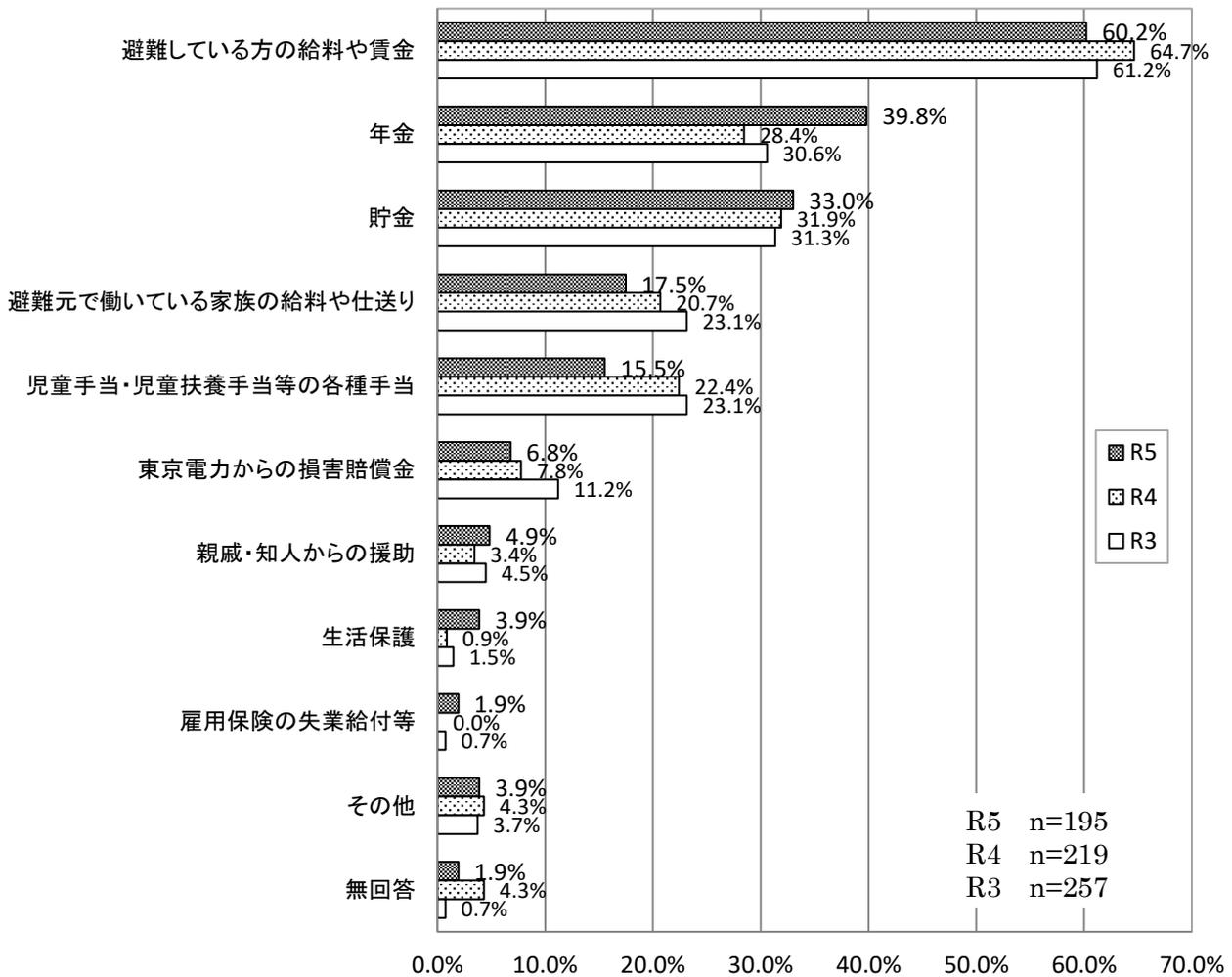


今の生活で困っていること・不安なことは、「生活資金のこと」が44.7%と最も多く、次いで「自分や家族の身体の健康」40.8%、「山形県での冬(雪)の生活のこと」32.0%の順となっています。一方、「特にない」は14.6%となっています。

※「避難者として特別視されること」は令和5年度の新規項目

## (2) 生活資金について

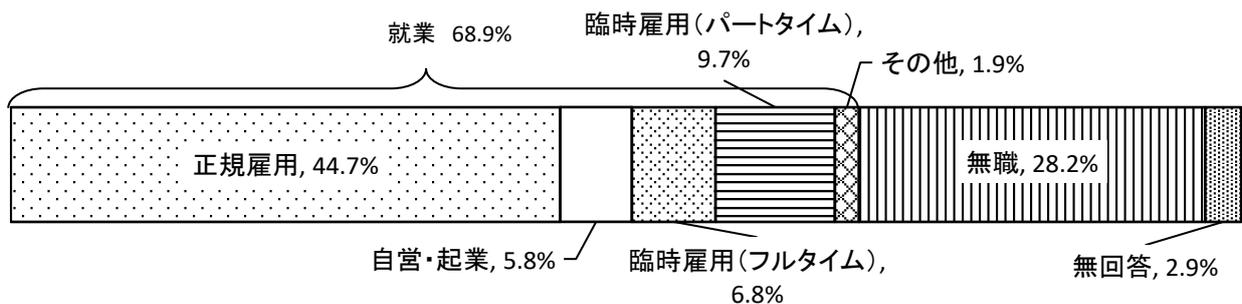
### 世帯の生活資金(3つまで)



世帯における生活資金をどこから得ているかについては、「避難している方の給料や賃金」が60.2%と最も高く、続いて「年金」、「貯金」、「避難元で働いている家族の給料や仕送り」の順となっています。

## (3) 主に生計を支えている方の就業状況について

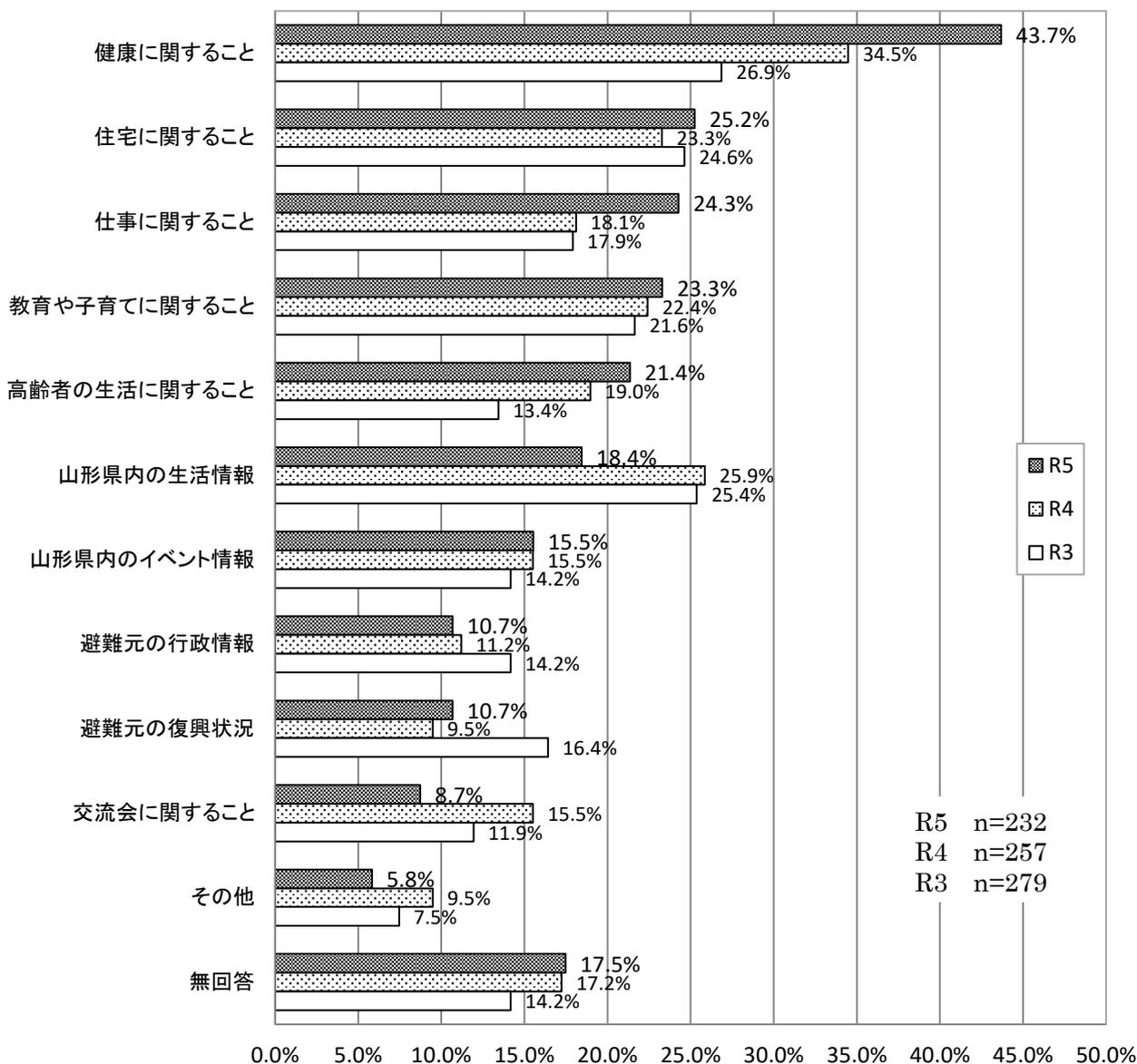
### 就業状況



主に生計を支えている方の就業状況は、全体の68.9%が現在就業しており、無職の方は28.2%となっています。

(4) 避難者支援に関する情報で希望する内容について

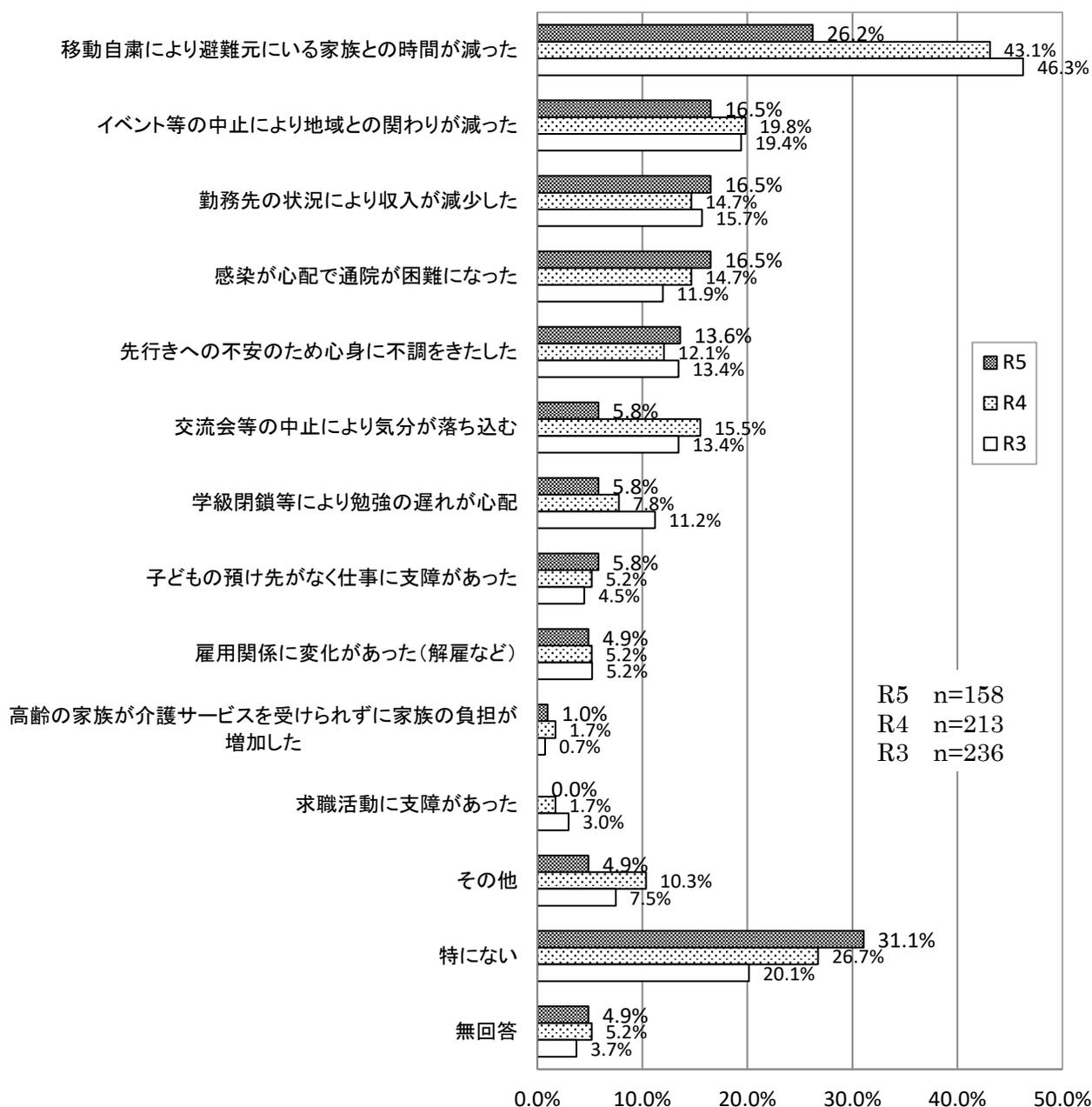
避難者支援に関する情報で希望する内容(複数回答)



避難者支援に関する情報で希望する内容は、「健康に関すること」が43.7%と最も多く、次いで「住宅に関すること」、「仕事に関すること」、「教育や子育てに関すること」の順となっています。また、「健康に関すること」の割合は令和3年度から増加しています。

## (5) 新型コロナウイルス感染症による影響について

### 新型コロナウイルス感染症による影響(3つまで)



新型コロナウイルス感染症の影響については、「移動自粛により避難元にいる家族との時間が減った」が26.2%、次いで「イベント等の中止により地域との関わりが減った」、「勤務先の状況により収入が減少した」及び「感染が心配で通院が困難になった」が同率となっています。

一方、「特にない」は31.1%で最も多く、割合が年々増加しています。

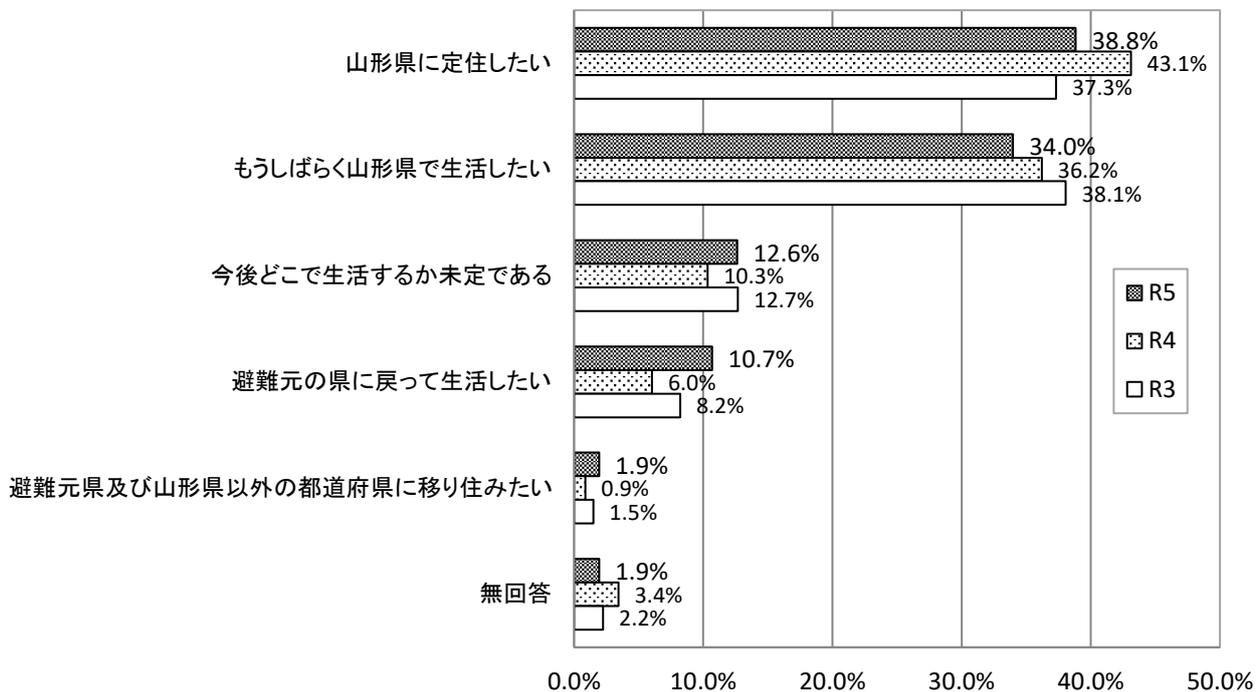
## (6) 新型コロナウイルス感染症による影響について相談したいこと(自由記入)

- ・せきなど、少しの体調不良でも子どもの学校を休ませていたため、それが当たり前になって休む癖がつかないか不安
- ・定期的な通院の際でも、未だに罹患やワクチン接種の有無を問診されるのが苦痛
- ・抗原検査キットを無料で配布してほしい。

などの記載がありました。

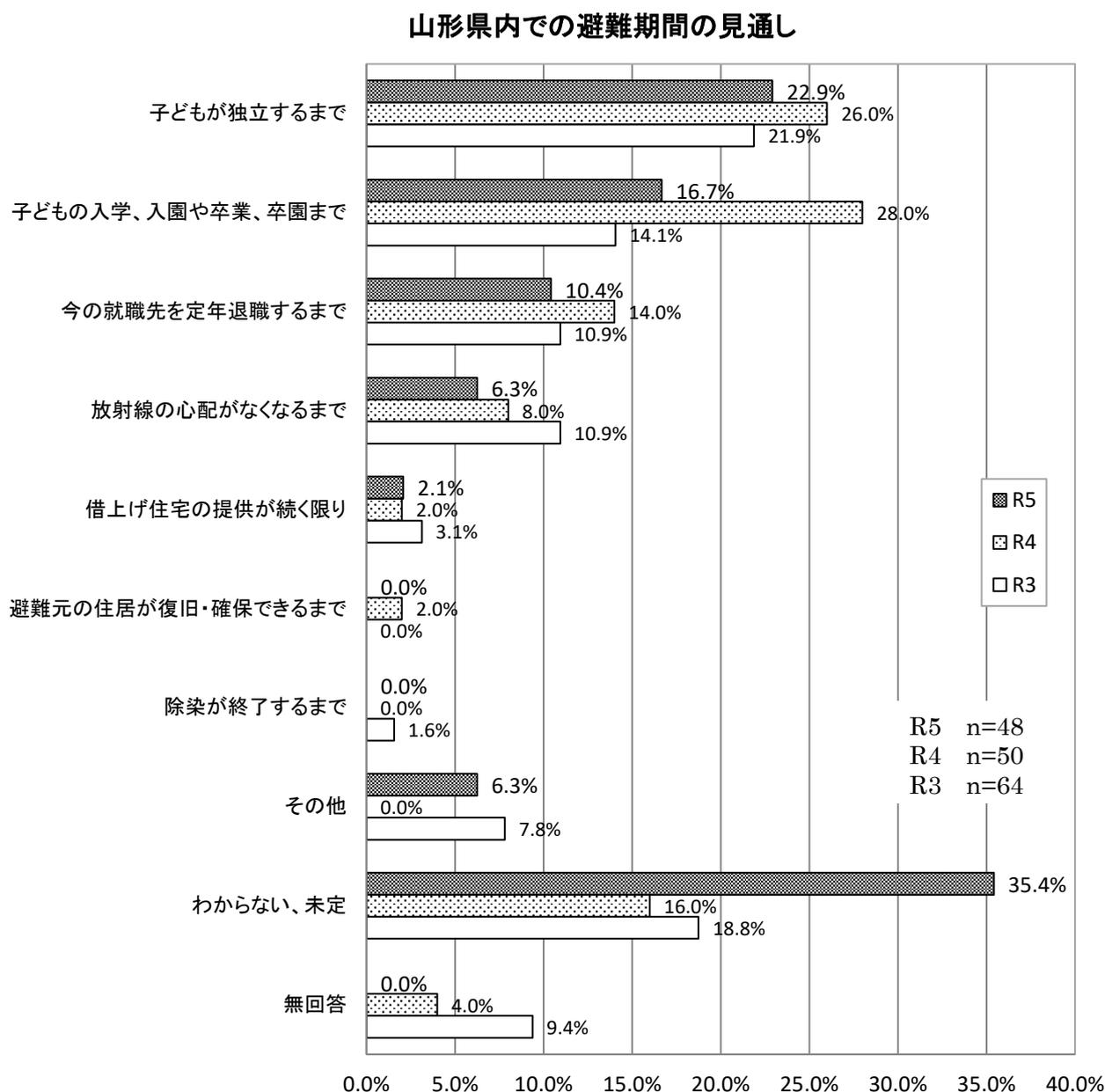
3 今後の生活について  
 (1) 今後の予定について

今後の予定



今後の予定について、「山形県に定住したい」が38.8%、「もうしばらく山形県で生活したい」が34.0%となっており、当面、山形での生活を続けたいと考えている方が約7割となっています。

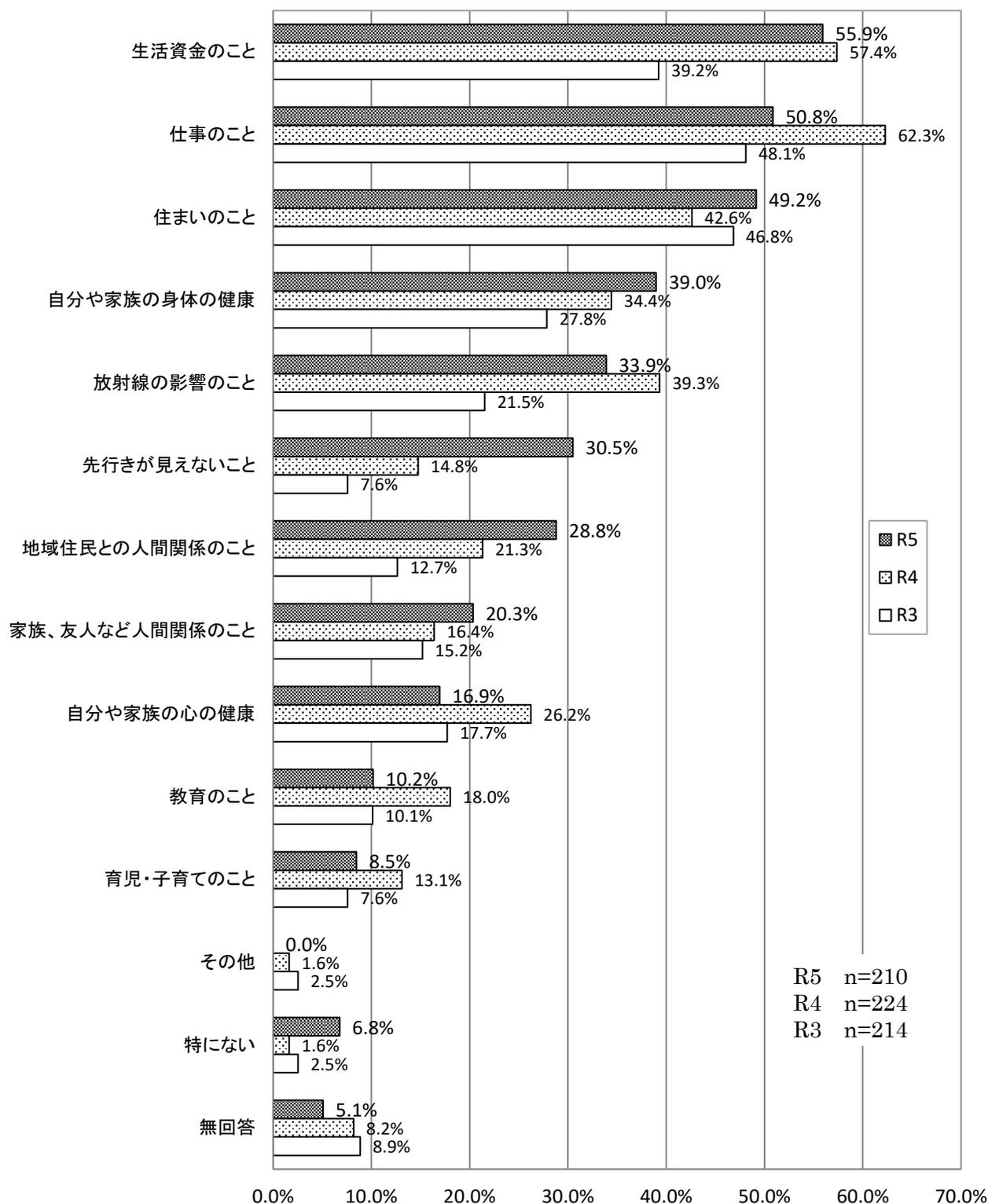
## (2) 避難期間の見通しと帰還について



3(1)で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方が、県内での避難生活をいつまでと考えているかについては、「子どもが独立するまで」が22.9%、次いで「子どもの入学、入園や卒業、卒園まで」が16.7%となっております。

一方、「わからない、未定」が最も多く、35.4%となっております。

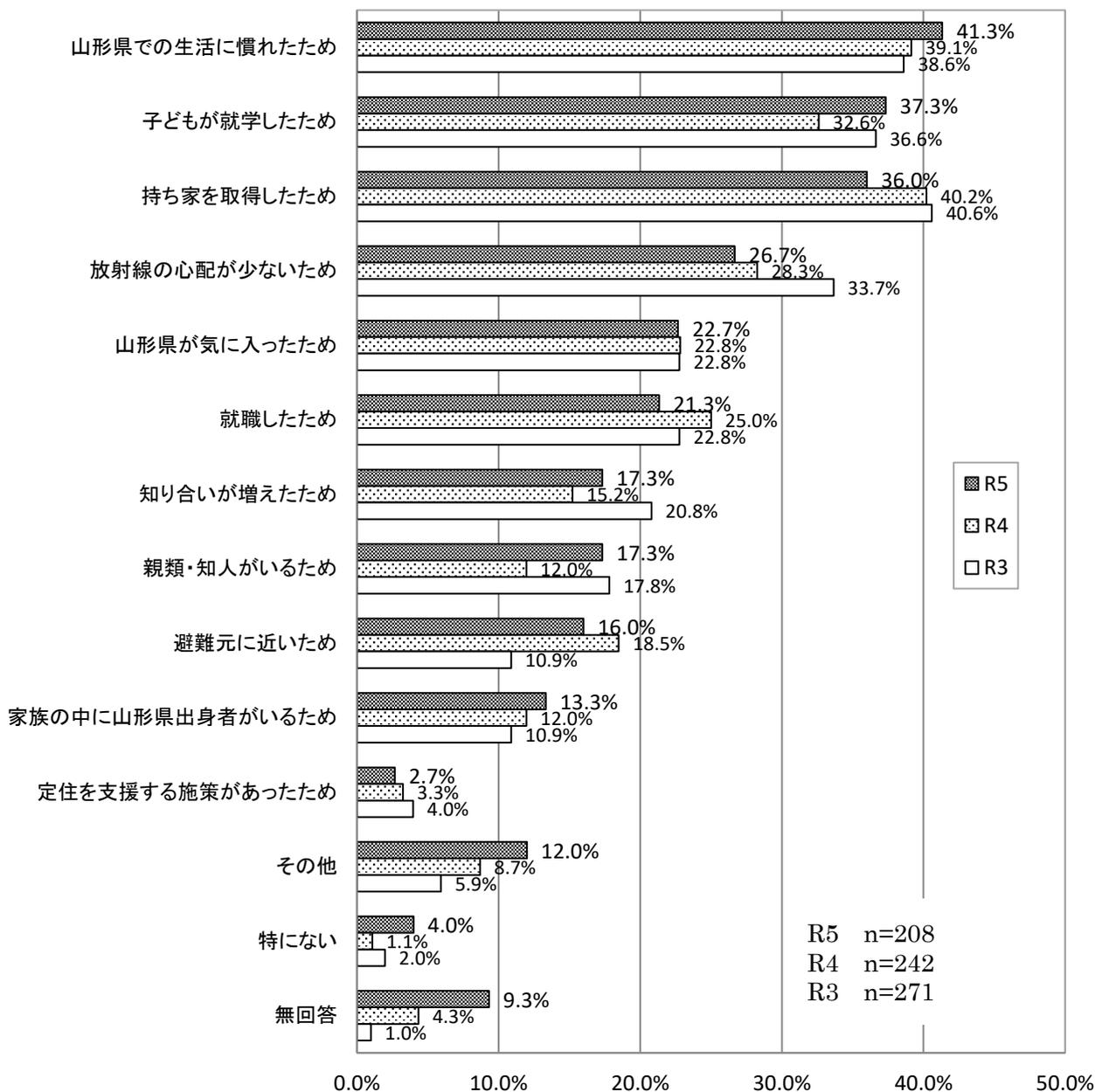
### 避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なこと(複数回答)



3 (1) で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「今後どこで生活するか未定である」と答えた方が、避難元の県へ帰還することとなった場合の心配なことは、「生活資金のこと」と答えた方が55.9%と最も多く、次いで「仕事のこと」、「住まいのこと」の順となっています。

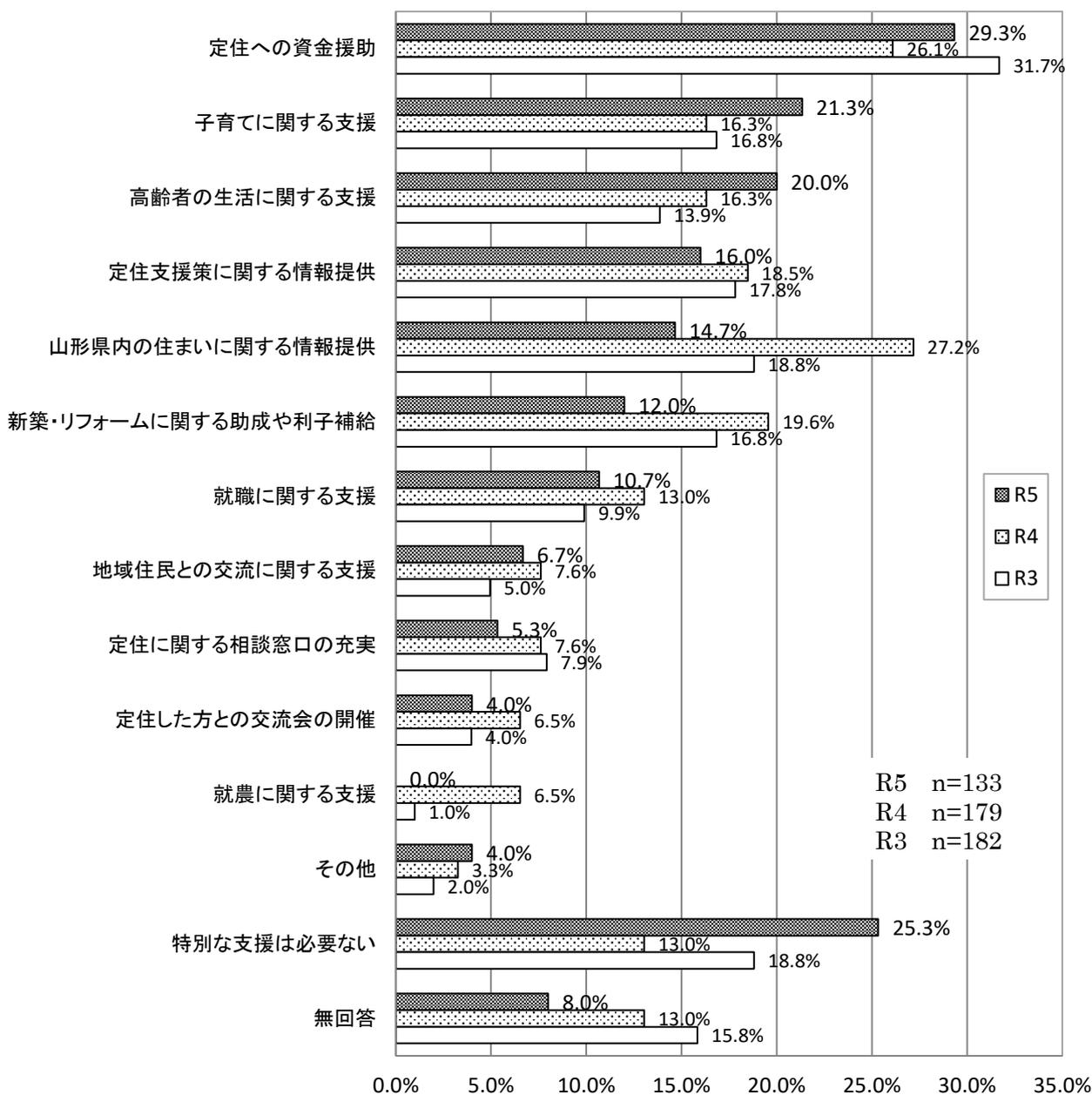
(3) 山形県内への定住について

「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の理由  
(複数回答)



3 (1) で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方の理由は、「山形県での生活に慣れたため」が41.3%と最も多く、次いで「子どもが就学したため」、「持ち家を取得したため」の順となっています。

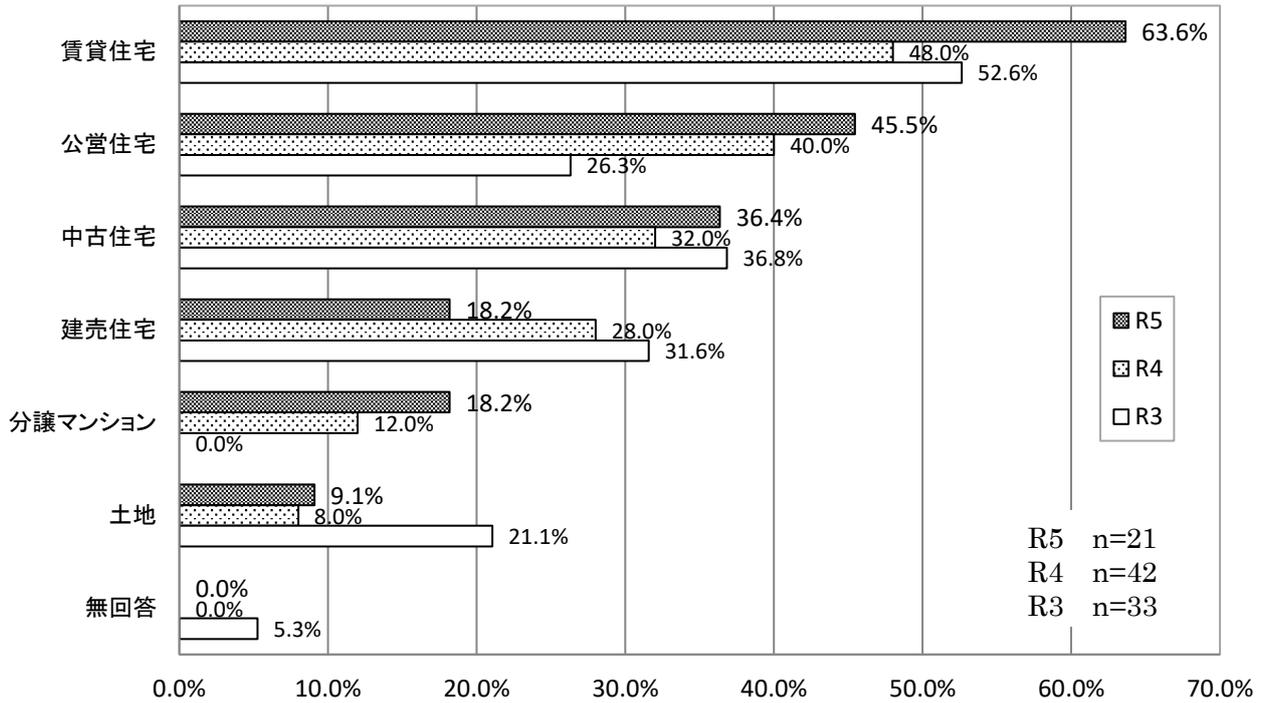
「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の  
希望する支援(複数回答)



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方が希望する支援は、「定住への資金援助」が29.3%と最も多く、次いで「子育てに関する支援」、「高齢者の生活に関する支援」の順となっています。

一方、「特別な支援は必要ない」は25.3%となっています。

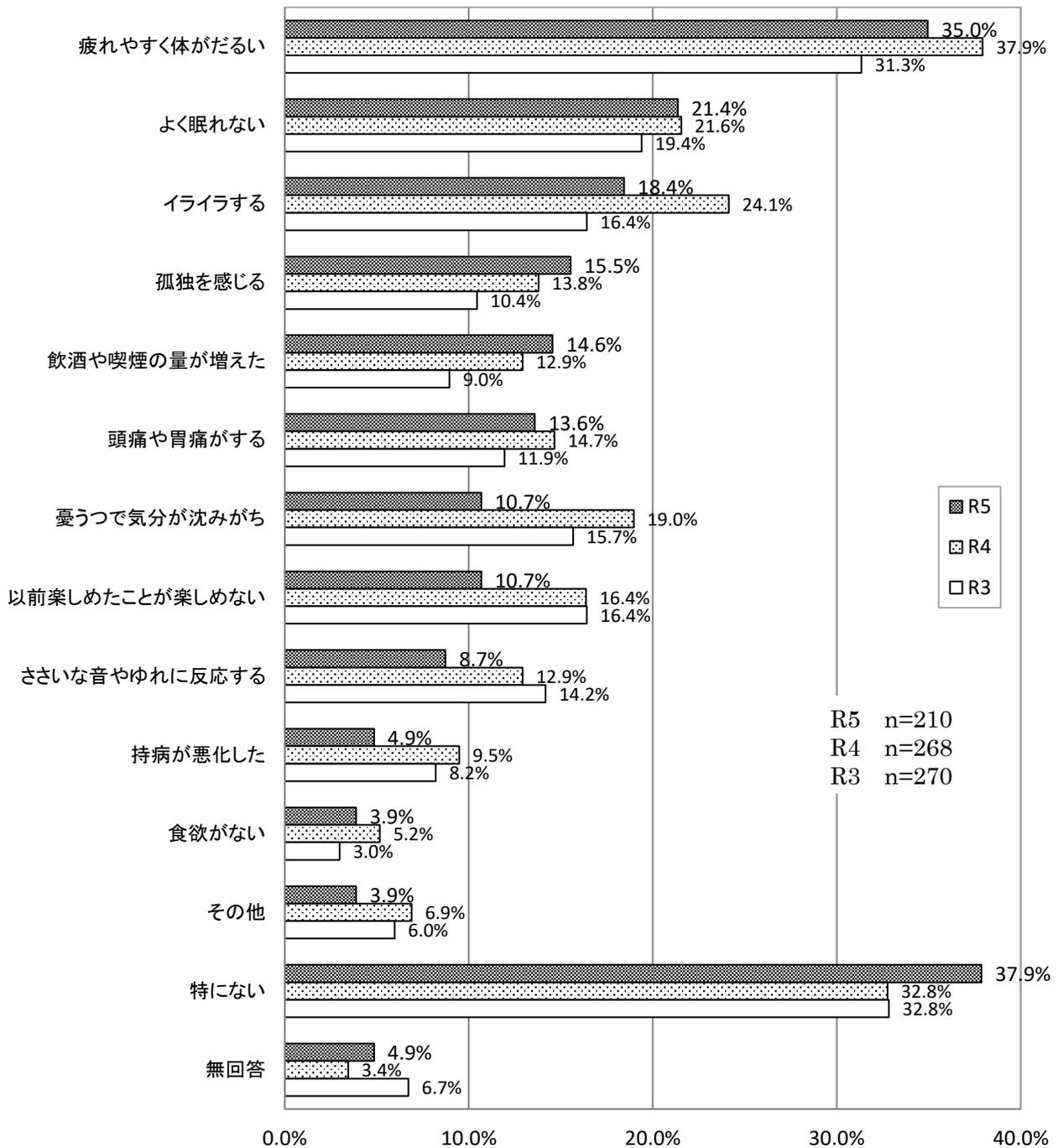
### 山形県内の住まいに関する必要な情報(複数回答)



希望する支援について、「山形県内の住まいに関する情報提供」と答えた方の「必要な情報は何か」の問いに対する回答は、「賃貸住宅」が63.6%と最も多く、次いで「公営住宅」、「中古住宅」の順となっています。

4 心身の健康について  
 (1) 心身の不調について

心身の不調について(複数回答)

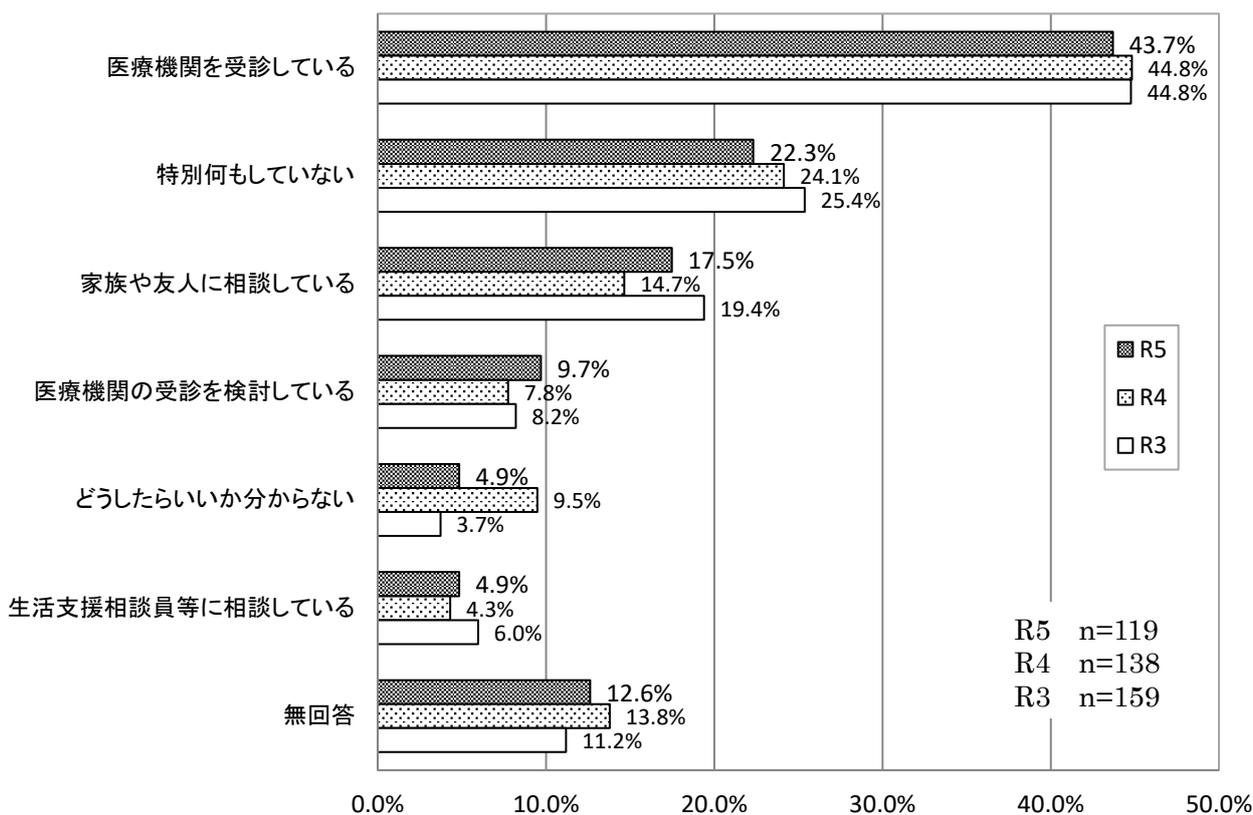


心身の不調については、「疲れやすく体がだるい」が35.0%、次いで「よく眠れない」が21.4%、「イライラする」が18.4%の順となっており、約6割※の方は心身に何らかの不調を抱えています。一方、「特にない」は最も多く、37.9%となっています。

※「特にない」と「無回答」を除いた割合

(2) 心身の不調に対する対応について

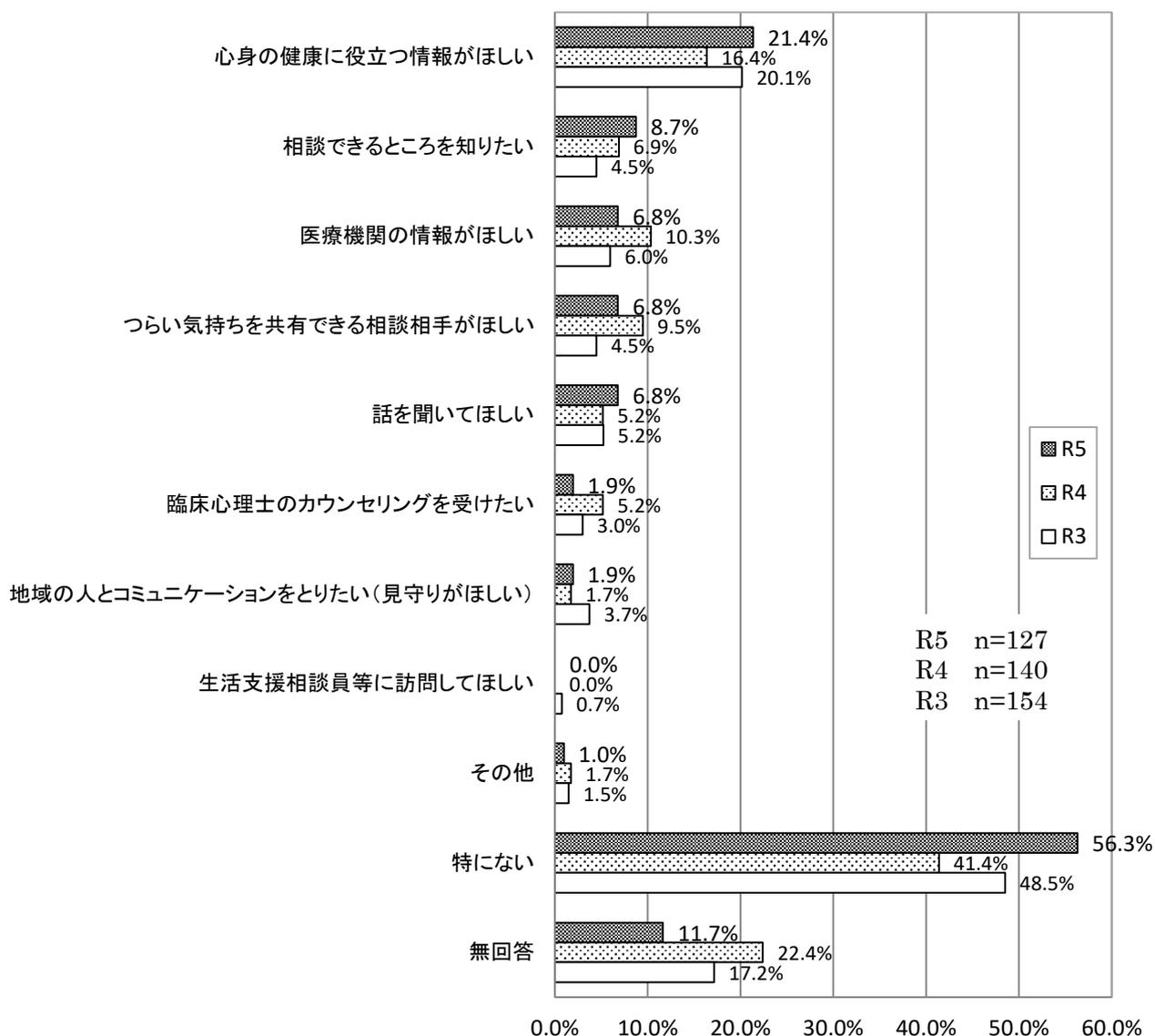
心身の不調に対する対応(複数回答)



心身の不調に対する対応については、「医療機関を受診している」が43.7%、次いで「特別何もしていない」、「家族や友人に相談している」の順となっています。

### (3) 心身の健康に関する要望について

#### 心身の健康に関して望むこと(複数回答)



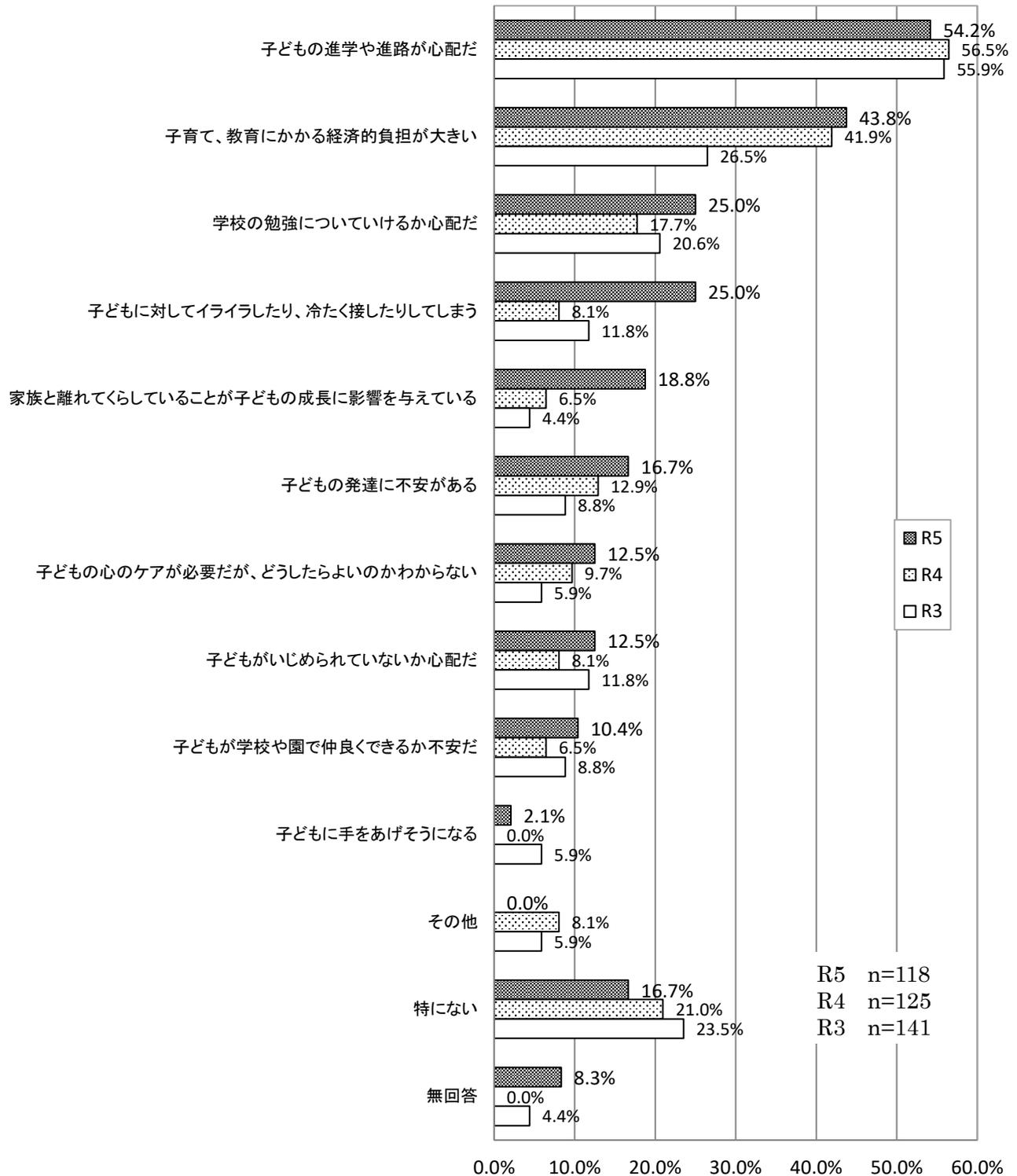
心身の健康に関して望むことは、「心身の健康に役立つ情報がほしい」が21.4%、次いで「相談できる場所を知りたい」の順となっています。

一方、「特にない」は最も多く、56.3%となっています。

5 教育や子育てについて（設問の対象者は18歳以下の子どもがいる世帯の方）

（1）教育や子育てで困っていること、不安なことについて

教育や子育てで困っていること（複数回答）

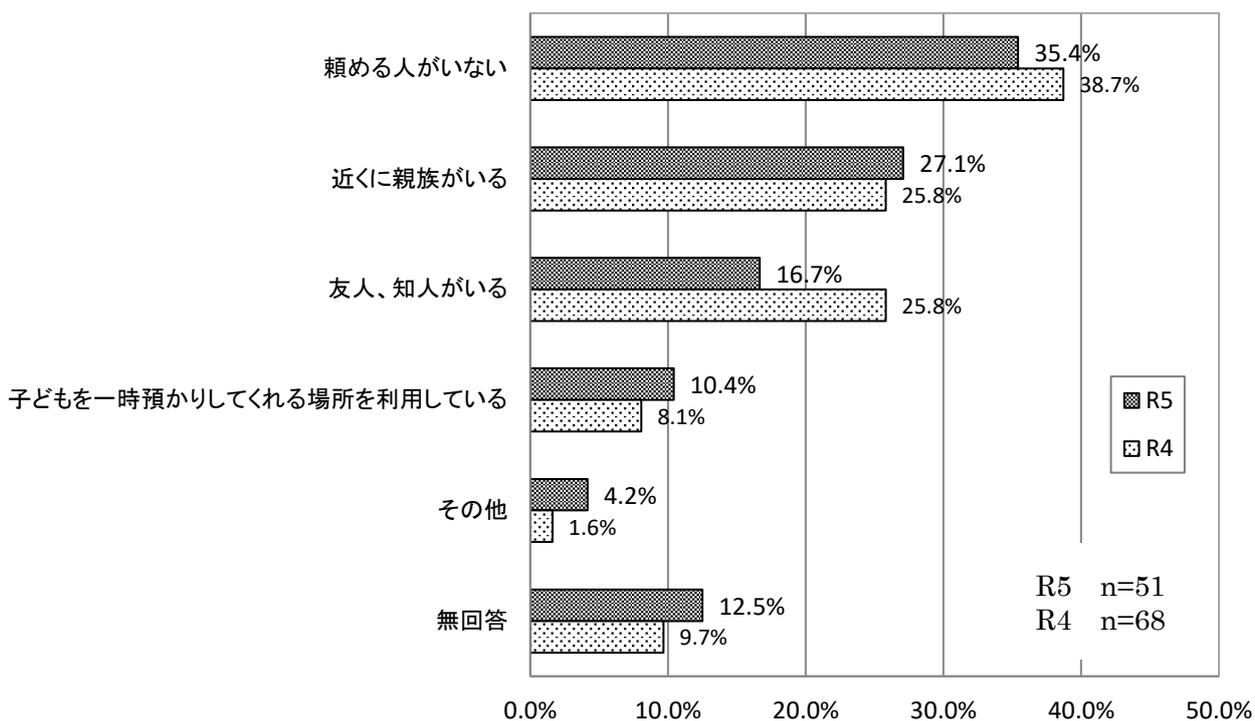


教育や子育てで困っていること、不安なことは、「子どもの進学や進路が心配だ」が54.2%で最も多く、「子育て、教育にかかる経済的負担が大きい」が続き、次いで「学校の勉強についていけるか心配だ」と「子どもに対してイライラしたり、冷たく接したりしてしまう」が同率となっています。

一方、「特にない」は16.7%となっています。

## (2) お子さんの預かり先について

### 困った時にお子さんを頼める方はいるか(複数回答)

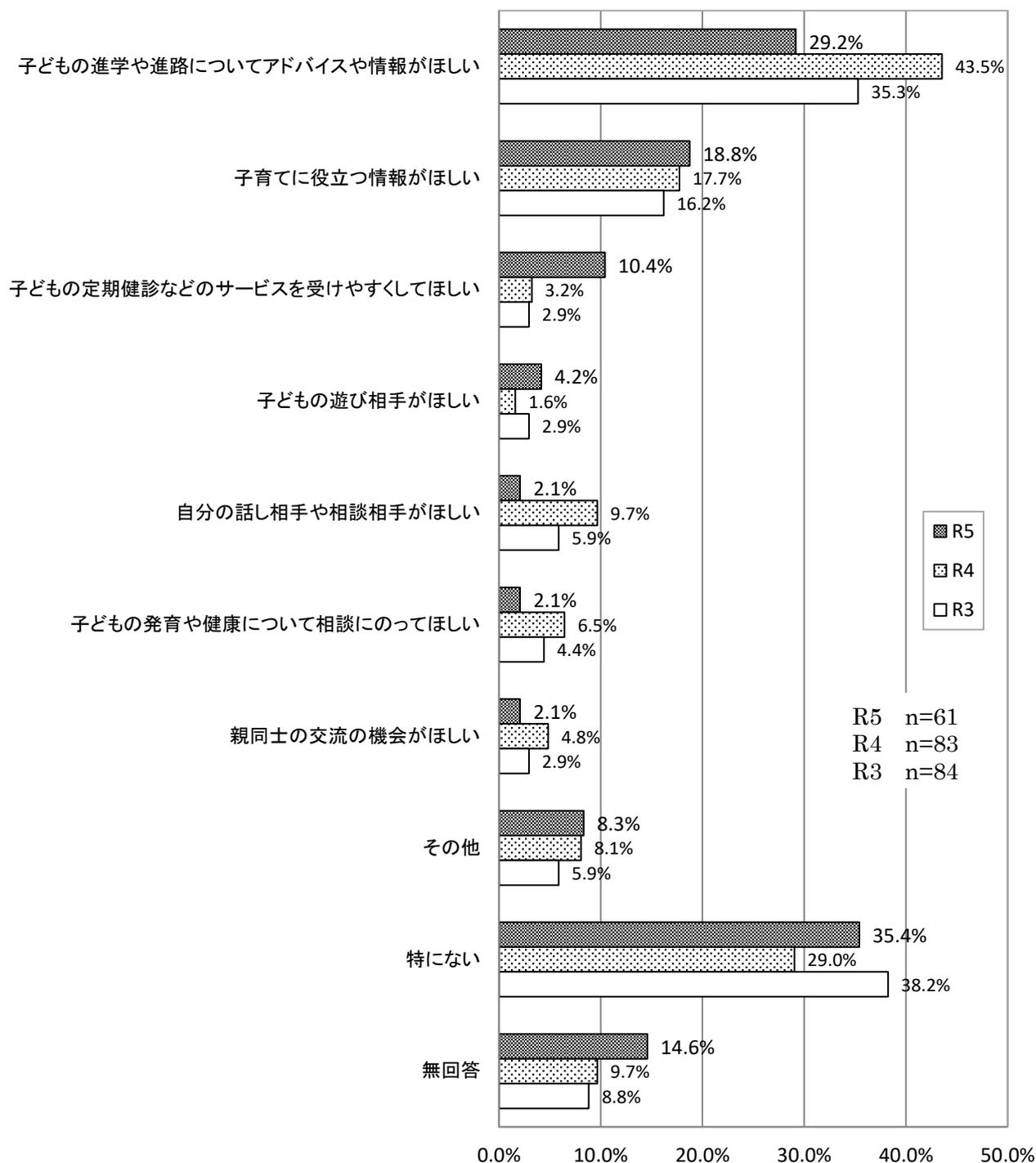


お子さんを頼める方がいるかをたずねたところ、35.4%の方が「頼める人がいない」となっています。また、「子どもを一時預かりしてくれる場所を利用している」が10.4%にとどまっています。

※令和4年度から複数回答

### (3) 教育や子育てに関する要望について

#### 教育や子育てに関する要望(複数回答)



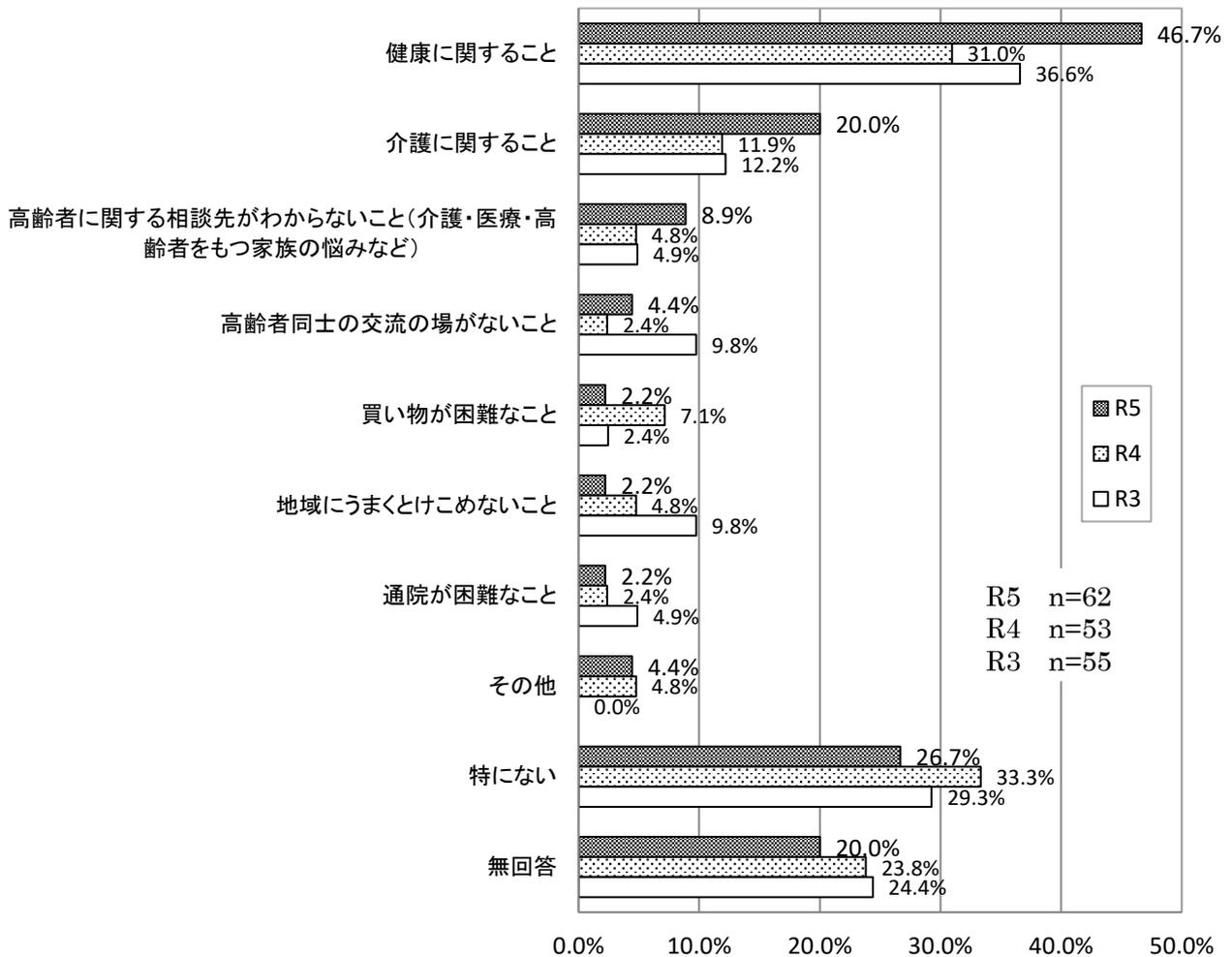
教育や子育てに関して望むことは、「子供の進学や進路についてアドバイスや情報がほしい」が29.2%、次いで「子育てに役立つ情報がほしい」、「子どもの定期健診などのサービスを受けやすくしてほしい」の順となっています。

一方、「特にない」は最も多く、35.4%となっています。

6 高齢者の生活について（設問の対象者は65歳以上の高齢者がいる世帯の方）

（1）高齢者の生活で困っていること、不安なことについて

高齢者の生活で困っていること（複数回答）

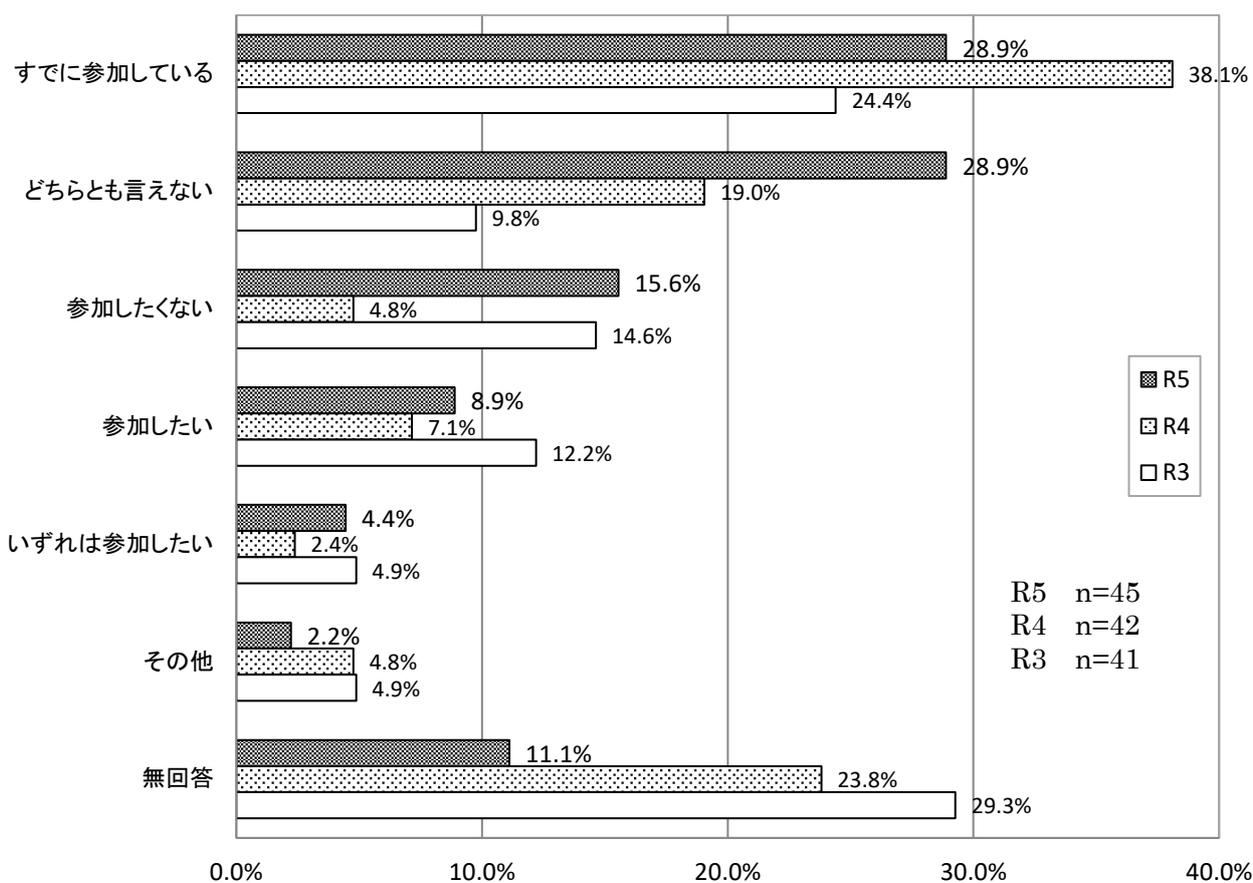


高齢者の生活で困っていること、不安なことは、「健康に関すること」が46.7%で最も多く、次いで「介護に関すること」が20.0%、「高齢者に関する相談先がわからないこと」が8.9%となっています。

一方、「特にない」は26.7%となっています。

(2) 高齢者の地域活動等への参加意欲について

地域の活動または地域の交流の場に参加してみたいと思うか

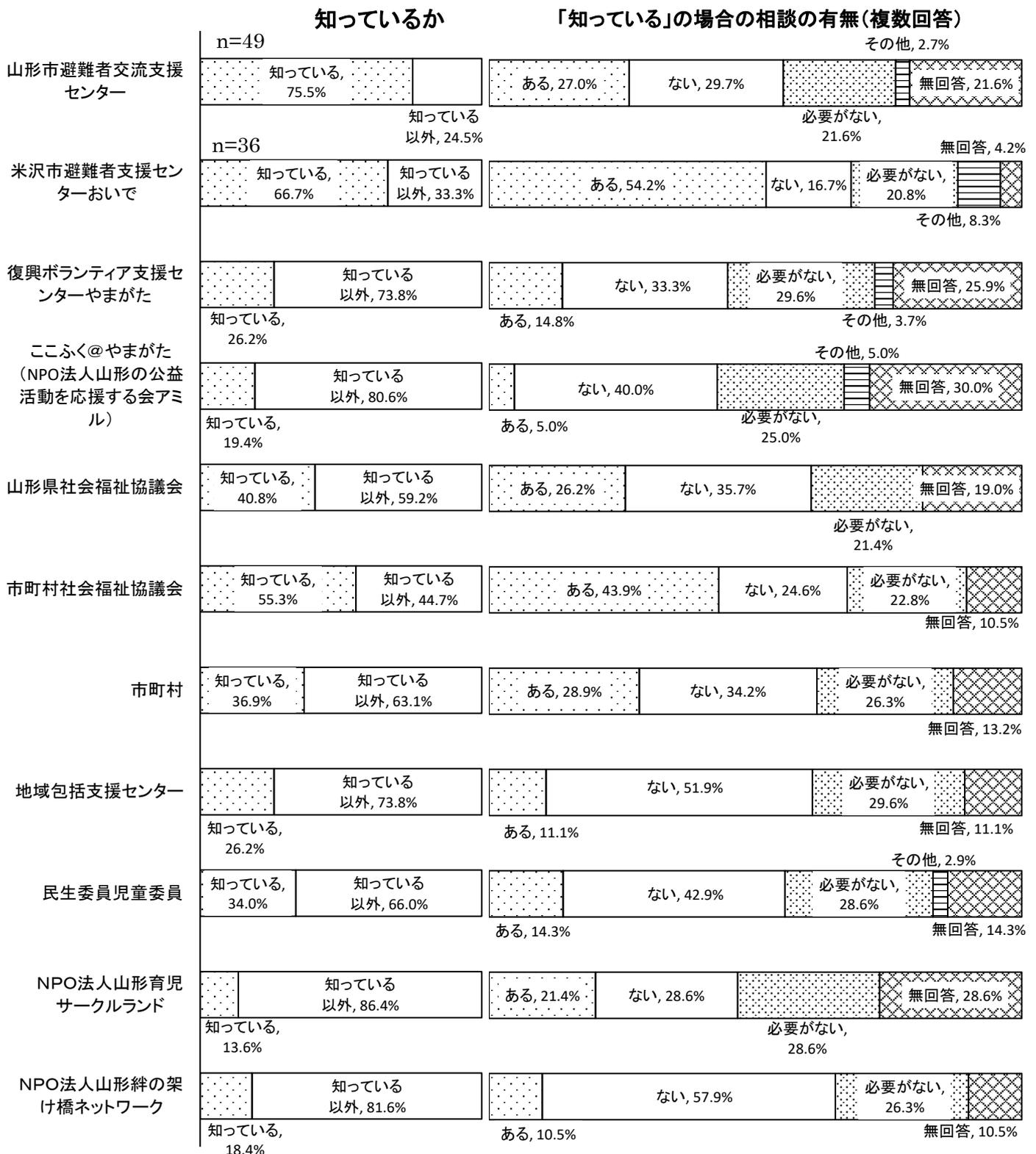


地域の活動または地域の交流の場に参加してみたいかたずねたところ、「すでに参加している」が28.9%、「参加したい」が8.9%、「いずれは参加したい」が4.4%と、約4割の方が参加意欲を持っています。

一方、「どちらとも言えない」は28.9%となっています。

## 7 相談支援機関と相談交流について

### (1) 相談支援機関の利用状況



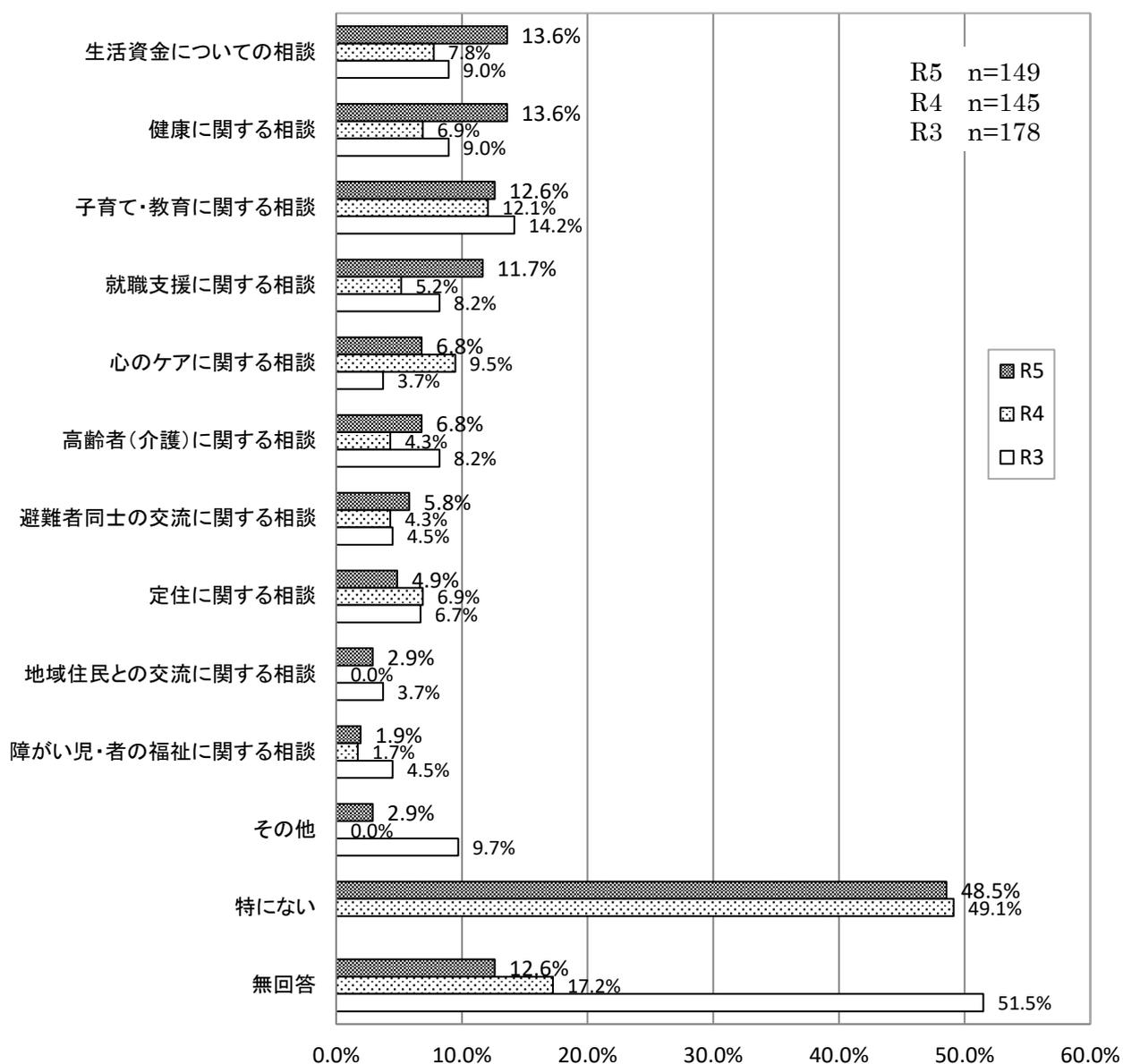
村山地域では、「山形市避難者交流支援センター」を知っている方が75.5%、置賜地域では、「米沢市避難者支援センターおいで」を知っている方が66.7%となっています。

市町村社会福祉協議会は55.3%の方が知っており、そのうち43.9%の方が相談したことがあると答えています。

※「山形市避難者交流支援センター」の母数は村山地域、「米沢市避難者支援センターおいで」の母数は置賜地域

## (2) 相談支援機関への相談について

### 相談支援機関に対し相談したいこと(複数回答)

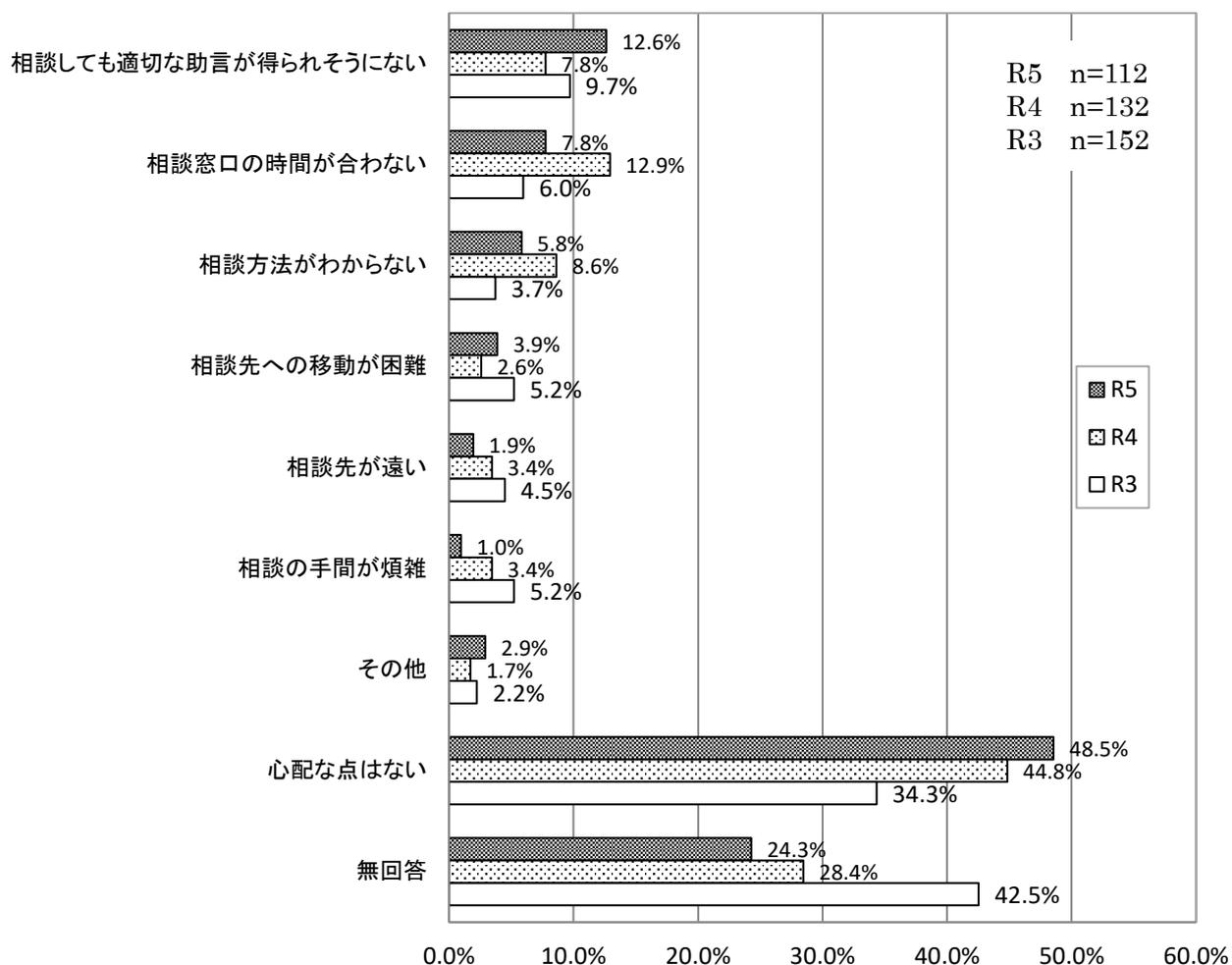


相談したいことは、「生活資金についての相談」と「健康に関する相談」が13.6%で同率、次いで「子育て・教育に関する相談」、「就職支援に関する相談」の順となっています。

一方、「特にない」は最も多く、48.5%となっています。

※「特にない」は令和4年度の新規項目

### 相談支援機関に相談する際に心配な点(複数回答)

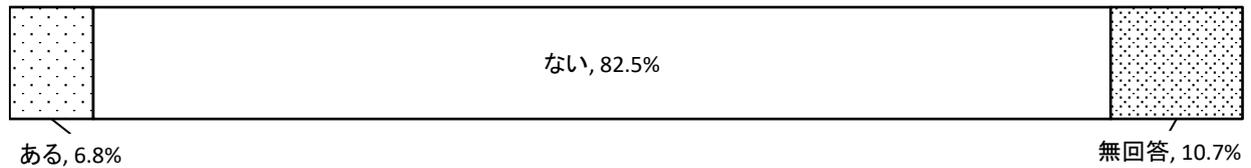


相談する際に心配なことは、「相談しても適切な助言が得られそうにない」が 12.6%、次いで「相談窓口の時間が合わない」が 7.8%となっています。

一方、「心配な点はない」が最も多く、48.5%となっています。

### (3) 戸別訪問について

#### 戸別訪問についての意見や要望の有無



戸別訪問についての意見や要望があると答えた方は全体の6.8%となっています。

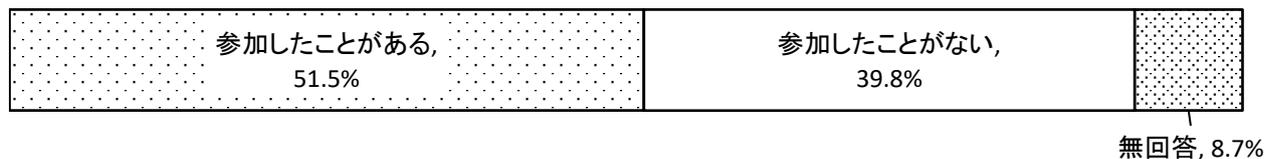
#### 「ある」と答えた方の回答(自由記入)

- ・戸別訪問してほしいが、日中仕事のため難しい。夕方や休日だと会えて話もできるのでありがたい。
- ・定年後避難元へ帰るため、就職のあっせんを継続してほしい。
- ・わざわざ戸別訪問していただきありがとうございます。

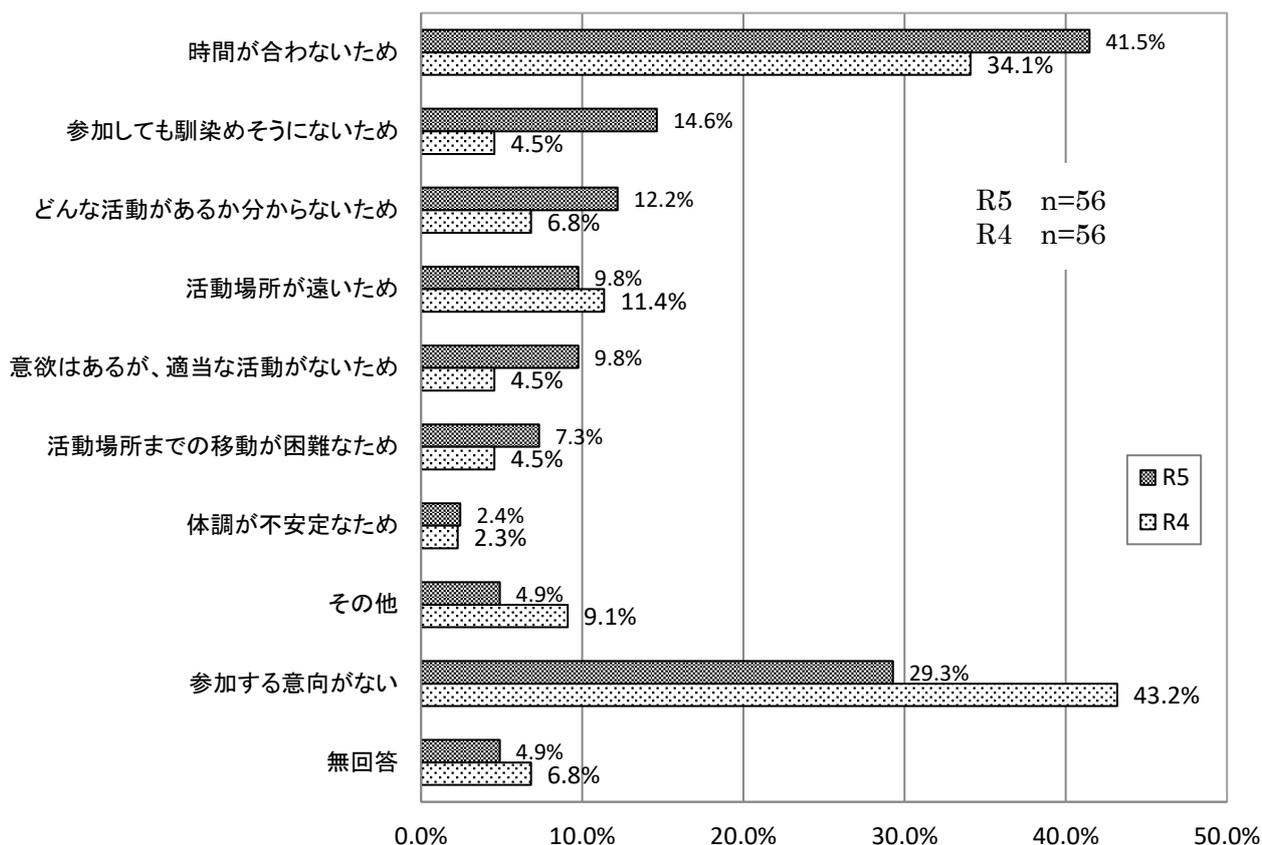
などの記載がありました。

#### (4) 相談交流の参加状況

##### 相談交流会やサロンなどのイベント参加の有無



##### 「参加したことがない」と答えた方の理由(複数回答)



相談交流会やサロンなどのイベントに「参加したことがある」方が 51.5%、「参加したことがない」方が 39.8%となっています。「参加したことがない」理由は、「時間が合わないため」が 41.5%で最も多く、次いで「参加しても馴染めそうにないため」、「どんな活動があるかわからないため」の順となっています。

一方、「参加する意向がない」は 29.3%となっています。

※「参加したことがない」と答えた方の理由」は令和4年度の新規項目

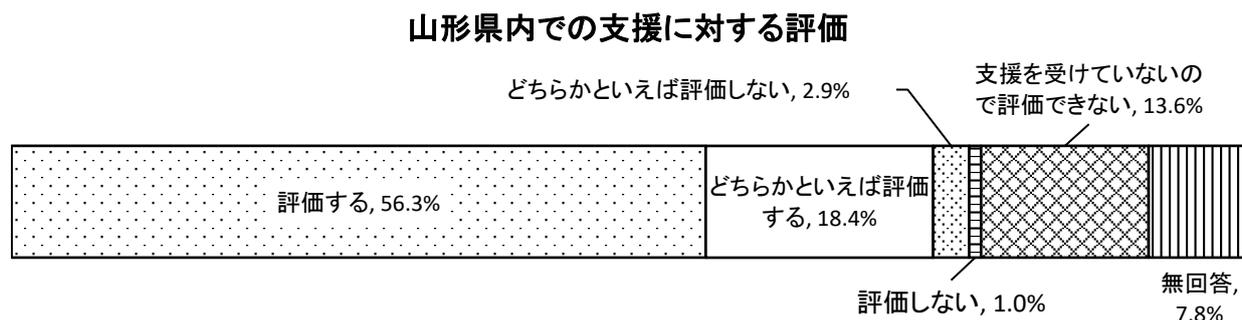
### 今後、参加したいイベントや相談交流の場（自由記入）

- ・平日は仕事のため、土日もしくは夕方に参加できるものがあれば嬉しい。
- ・健康維持のためのピラティスやヨガ。
- ・仕事の息抜きがしたいので、コロナ前のようにバスツアーを開催してほしい。
- ・童謡や歌謡曲などの音楽系は心が明るくなる。
- ・なかなか集まる機会が少なくなり、情報の交換も大変になってきた。今やっておかないと後ではできない交流の場…そんなものに期待します。
- ・クリスマス会、日帰り旅行、夕方からの交流会。
- ・臨床心理士さんによるカウンセリング（無料）があれば相談したい。

などの記載がありました。

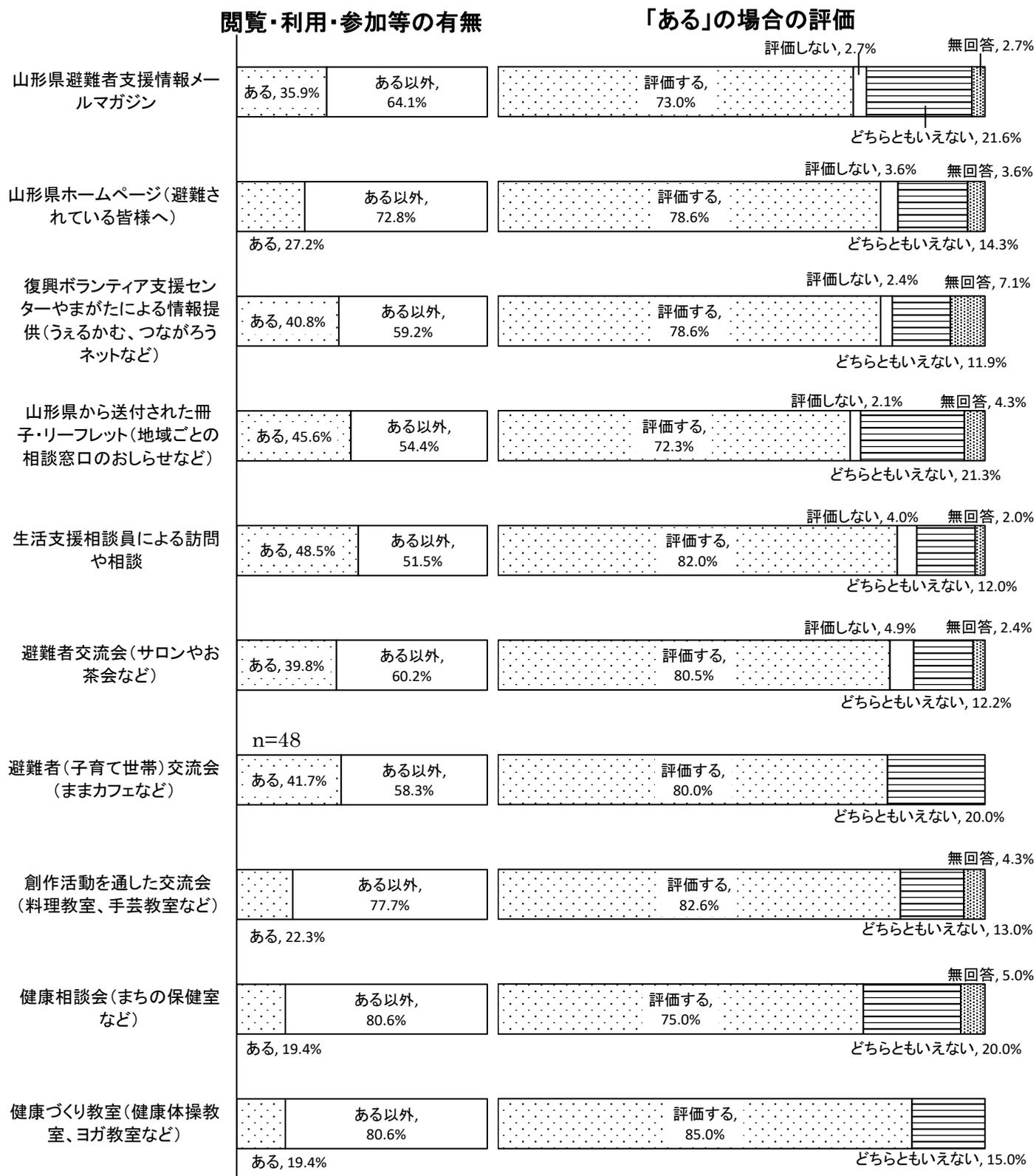
## 8 県内で行っている避難者支援事業について

### (1) 山形県内での支援に対する評価



避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体等）についてどのように感じているかは、「評価する」が56.3%、「どちらかといえば評価する」が18.4%と、約7割の方に評価されています。

## (2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について

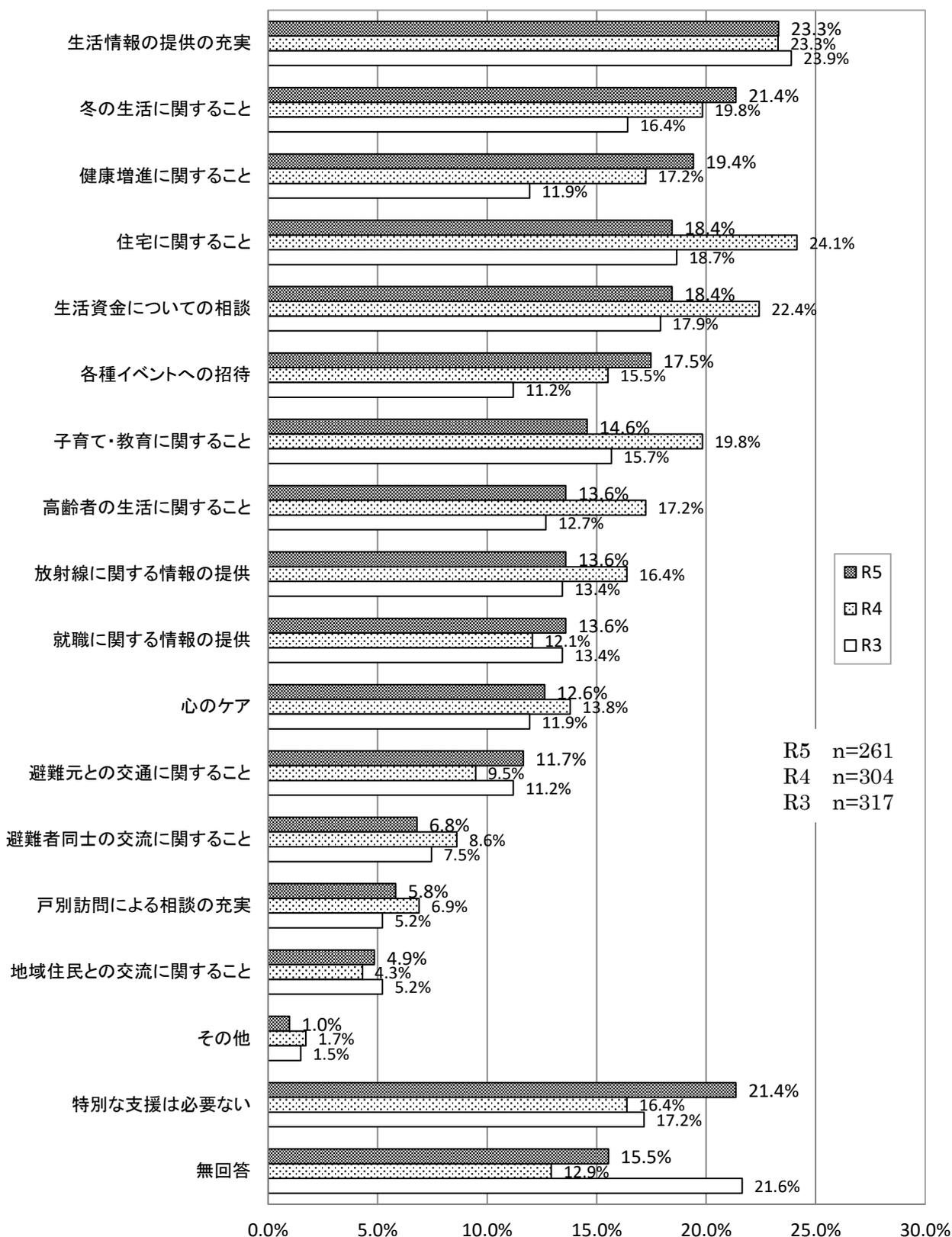


避難者支援事業別に利用状況を見ると、「生活支援相談員による訪問や相談」が48.5%と最も多く、次いで「山形県から送付された冊子・リーフレット」が45.6%、「避難者(子育て世帯)交流会」は41.7%の方が利用、参加されており、いずれも7割以上の方が「評価する」と答えています。

※「避難者(子育て世帯)交流会(ままカフェなど)」の母数は18歳以下の子どもがいる世帯

(3) 県内での避難者への支援として期待するもの

避難者への支援として期待するもの(複数回答)



山形県内の避難者への支援として期待するものは、「生活情報の提供の充実」が23.3%と最も多く、次いで「冬の生活に関すること」、「健康増進に関すること」の順となっています。一方、「特別な支援は必要ない」は21.4%となっています。

#### (4) 今後実施してほしい避難者支援事業（自由記入）

- ・コミセン無料利用の継続、授業料・医療費支援。
- ・子どもも参加できるイベント。
- ・山形に避難して良かったと思えるような、心の支援。
- ・避難指示区域対象外からの避難者の経済的支援が圧倒的にない。就学時の支援等をもっと拡大してほしい。
- ・年を追うごとに除雪が負担になる。
- ・健康バロメーターを知るため、看護協会の健康測定をぜひ復活し、支援してほしい。補助金を計上してほしい。
- ・一度で良いので県内ごとの交流会を開催してほしい。参加すると他県の方がほとんどで仲間に入りづらい。
- ・今困っていることは特にありませんが、いずれ困りごとがでてくると思います。見守っていてください。それだけでも安心します。

などの記載がありました。

## 9 自由記入欄（抜粋）

### （１）避難元に対し県から伝えてもらいたいこと

- ・避難者のいる状況が続いているという意識が薄れてきたと感じる。支援者含めて、避難元には情報を発信し続けてほしい。
- ・良い情報だけでなく、今後の課題などの情報もあれば良い。
- ・国民健康保険、介護保険の減免など段階的に打ち切られることになるので、これからは自立していかなければ、いつまでも避難者という立場ではられないのではと思います。
- ・12年経ってまだ…という心ない対応をやめてほしい。
- ・一番の気かりは避難元の土地のことです。これからますます高齢になり管理が行き届かなくなるので、国または市町村に収用してほしいと思っています。
- ・就労支援を充実してほしい。
- ・山形県に住んで、良くしてもらっています。

### （２）政府に対し県から伝えてもらいたいこと

- ・未だに避難者がいることを考えてほしい。
- ・放射能のことや現在の状況をきちんと開示してほしい。
- ・医療費免除の継続を望む。
- ・高速の無料措置をとっていただいております。引き続きの支援をお願いします。
- ・年数が経過すると、支援事業も予算が少なくなり、縮小化され、忘れられていきます。そんな中でも、心のケアに関するものは残し、明日につなげてほしい。
- ・避難している母子家庭には身寄りがおらず、子どもを預けられないことから仕事もできず、生活資金がとにかく足りません。苦しい現状を知ってほしいです。
- ・就学児の支援を拡大していただきたい。
- ・住宅の家賃支援。
- ・避難元へ帰りたいと思っています。高齢になり、生活面、仕事面でクリアできることが年々少なくなり、今後どうすればよいのか困っています。

### （３）その他、日頃から感じていることなど

- ・山形市の支援センターを利用する機会が多いが、高齢化も進み参加者も限られてきているからか、スペースが狭くなり相談しづらい。
- ・今現在困りごともなく生活しています。避難者ではなく地域住民として生きていきたいので、支援は特に求めていません。
- ・恐怖を味わった人でしかわからないこと、口に出して伝えることができない人の声なき声を見逃さないでください。お願いすることだけしかできません。
- ・地元の方でも色々な方がいて、助けてくれる方もいれば心無いことをされる方もいます。避難を理由にしたいじめや嫌がらせが未だに続いており、相談できるところもなく、困っています。
- ・震災から10年以上経っても避難している人が何人というのに、住宅の援助や高速道路の無料化もなくなり、心から助かる援助がありません。
- ・冬の雪の対策を助けてほしい。
- ・避難元に住んでいる両親の介護など、不安はありますが、がんばっていこうと思います。
- ・生活支援相談員さんには本当にお世話になっています。周りの方のお陰で健康に暮らせています。

その他、山形県、県内市町村、地域の方々の支援に対し、感謝しているとの声を多数いただきました。



## 2 山形での生活について

問 2-1 今の生活で困っていること、不安なことは何ですか。(5つまで)

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

1. 生活資金のこと
2. 仕事のこと
3. 住まいのこと
4. 自分や家族の心の健康
5. 自分や家族の身体の健康
6. 育児・子育てのこと
7. 教育のこと
8. 高齢者の生活のこと
9. 困りごとの相談相手がいないこと
10. 家族、友人など人間関係のこと
11. 山形県での冬(雪)の生活のこと
12. 放射線の影響のこと
13. 残してきた家や財産のこと
14. 地元の家族と過ごす時間が少ないこと
15. 避難生活の先行きが見えないこと
16. 地元との交通に関すること
17. 避難者として特別視されること
18. その他 ( )
19. 特にない

問 2-2 世帯の生活資金はどこから得ていますか。(3つまで)

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

1. 避難している方の給料や賃金
2. 避難元で働いている家族の給料や仕送り
3. 年金
4. 児童手当・児童扶養手当等の各種手当
5. 雇用保険の失業給付等
6. 貯金
7. 生活保護
8. 親戚・知人からの援助
9. 東京電力からの損害賠償金
10. その他 (具体的に )

問 2-3 主に世帯の生計を支えている方の就業形態はどのような状況ですか。

1. 正規雇用
2. 自営・起業
3. 臨時雇用(フルタイム)
4. 臨時雇用(パートタイム)
5. 無職
6. その他( )

問 2-4 避難者支援に関する情報で希望する内容は何か。(複数回答可)

1. 住宅に関すること
2. 仕事に関すること
3. 健康に関すること
4. 教育や子育てに関すること
5. 高齢者の生活に関すること
6. 交流会に関すること
7. 避難元の復興状況
8. 避難元の行政情報
9. 山形県内の生活情報
10. 山形県内のイベント情報
11. その他 ( )

問 2-5 新型コロナウイルス感染症により、生活にどんな影響がありましたか。(3つまで)

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

1. 雇用関係に変化があった(解雇など)
2. 勤務先の状況により収入が減少した
3. 求職活動に支障があった
4. 交流会等の中止により気分が落ち込む
5. イベント等の中止により地域との関わりが減った
6. 移動自粛により避難元にいる家族との時間が減った
7. 感染が心配で通院が困難になった
8. 学級閉鎖等により勉強の遅れが心配
9. 子どもの預け先がなく仕事に支障があった
10. 高齢の家族が介護サービスを受けられずに家族の負担が増加した
11. 先行きへの不安のため心身に不調をきたした
12. その他  
( )
13. 特にない

問 2-6 新型コロナウイルス感染症による影響について、相談したいことはありますか。

( )

生活支援相談員等との相談をご希望の方は、末尾に連絡先を記入してください

### 3 今後の生活について

問 3-1 今後の予定についてお答えください。(最もあてはまるもの1つを回答)

1. 避難元の県に戻って生活したい →問 3-2~3 へ
2. もうしばらく山形県で生活したい →問 3-2 以下すべての質問へ
3. 山形県に定住したい →問 3-4~5 へ
4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい →問 3-2 へ
5. 今後どこで生活するか未定である →問 3-3 へ

問3-2 問3-1で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方にお聞きします。今後山形県内での生活はいつまでと考えていますか。(最もあてはまるもの1つを回答)

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. 除染が終了するまで         | 2. 放射線の心配がなくなるまで |
| 3. 避難元の住居が復旧・確保できるまで | 4. 借上げ住宅の提供が続く限り |
| 5. 子どもの入学、入園や卒業、卒園まで | 6. 子どもが独立するまで    |
| 7. 今の就職先を定年退職するまで    |                  |
| 8. その他 ( )           |                  |
| 9. わからない、未定          |                  |

問3-3 問3-1で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「5. 今後どこで生活するか未定である」と答えた方にお聞きします。避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なことは何ですか。(複数回答可)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 生活資金のこと       | 2. 仕事のこと          |
| 3. 住まいのこと        | 4. 自分や家族の心の健康     |
| 5. 自分や家族の身体の健康   | 6. 育児・子育てのこと      |
| 7. 教育のこと         | 8. 家族、友人など人間関係のこと |
| 9. 地域住民との人間関係のこと | 10. 放射線の影響のこと     |
| 11. 先行きが見えないこと   |                   |
| 12. その他 ( )      |                   |
| 13. 特にない         |                   |

問3-4 問3-1で「2. もうしばらく山形県で生活したい」「3. 山形県に定住したい」と答えた方は、どのような理由からですか。(複数回答可)

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 1. 避難元に近いため            | 2. 放射線の心配が少ないため     |
| 3. 山形県が気に入ったため (内容 : ) |                     |
| 4. 持ち家を取得したため          | 5. 定住を支援する施策があったため  |
| 6. 山形県での生活に慣れたため       | 7. 家族の中に山形県出身者がいるため |
| 8. 親類・知人がいるため          | 9. 就職したため           |
| 10. 子どもが就学したため         | 11. 知り合いが増えたため      |
| 12. その他 ( )            |                     |
| 13. 特にない               |                     |



## 5 教育や子育てについて（18歳以下のお子さんがある世帯の方のみ回答してください）

問 5-1 お子さんの教育や子育てに関して困っていること、不安に思っていることは何ですか。（複数回答可）

1. 子どもの心のケアが必要だが、どうしたらよいのかわからない
2. 子どもに対してイライラしたり、冷たく接したりしてしまう
3. 子どもに手をあげそうになる
4. 子育て、教育にかかる経済的負担が大きい
5. 家族と離れてくらしていることが子どもの成長に影響を与えている
6. 子どもが学校や園で仲良くできるか不安だ
7. 子どもがいじめられていないか心配だ
8. 学校の勉強についていけるか心配だ
9. 子どもの進学や進路が心配だ
10. 子どもの発達に不安がある
11. その他（ ）
12. 特にない

問 5-2 ご自身が困った時にお子さんを頼める方はいますか。（複数回答可）

1. 近くに親族がいる
2. 子どもを一時預かりしてくれる場所を利用している
3. 友人、知人がいる
4. 頼める人がいない
5. その他（ ）

問 5-3 お子さんの教育や子育てに関して望むことは何ですか。（複数回答可）

1. 子育てに役立つ情報がほしい
2. 子どもの遊び相手がほしい
3. 自分の話し相手や相談相手がほしい
4. 親同士の交流の機会がほしい
5. 子どもの発育や健康について相談にのってほしい
6. 子どもの定期健診などのサービスを受けやすくしてほしい
7. 子どもの進学や進路についてアドバイスや情報がほしい
8. その他（ ）
9. 特にない

## 6 高齢者の生活について（65歳以上の高齢者がいる世帯の方のみ回答してください）

問 6-1 ご自身や同居のご家族・同居者の中に、高齢者がいる方にお聞きします。今の生活で困っていること、不安なことは何ですか。（複数回答可）

1. 介護に関すること
2. 健康に関すること
3. 地域にうまくとけこめないこと
4. 高齢者同士の交流の場がないこと
5. 通院が困難なこと
6. 買い物が困難なこと
7. 高齢者に関する相談先がわからないこと（介護・医療・高齢者をもつ家族の悩みなど）
8. その他（ ）
9. 特にない

問 6-2 今後、地域の活動または地域の交流の場に、参加してみたいと思いますか。(最もあてはまるもの1つを回答)

1. 参加したい
2. いずれは参加したい
3. すでに参加している
4. どちらとも言えない
5. 参加したくない
6. その他 ( )

## 7 相談支援機関と相談交流について

問 7-1 山形県内にはさまざまな相談支援機関があります。  
 次にあげる相談支援機関を知っていますか。また、実際に相談したことがありますか。  
 あてはまる箇所に○をつけてください。(複数回答可)

相談支援機関	知っている	相談したことがある	相談したことがない	相談する必要がある	そ の 他
山形市避難者交流支援センター					
米沢市避難者支援センターおいで					
復興ボランティア支援センターやまがた					
ここふく@やまがた (NPO法人山形の公益活動を応援する会アミル)					
山形県社会福祉協議会					
市町村社会福祉協議会					
市 町 村					
地域包括支援センター					
民生委員児童委員					
NPO法人やまがた育児サークルランド					
NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク					
その他 ( )					

問 7-2 避難者支援に限らず、相談支援機関に相談したいことはありますか。(複数回答可)

1. 生活資金についての相談
2. 定住に関する相談
3. 就職支援に関する相談
4. 子育て・教育に関する相談
5. 健康に関する相談
6. 心のケアに関する相談
7. 高齢者(介護)に関する相談
8. 障がい児・者の福祉に関する相談
9. 地域住民との交流に関する相談
10. 避難者同士の交流に関する相談
11. その他 ( )
12. 特になし

問 7-3 相談支援機関に相談する際に心配な点はありますか。(複数回答可)

1. 相談方法がわからない
2. 相談先が遠い
3. 相談先への移動が困難
4. 相談窓口の時間が合わない
5. 相談の手間が煩雑
6. 相談しても適切な助言が得られそうにない
7. その他 ( )
8. 心配な点はない

問 7-4 山形県では、避難されている方の悩みや困りごと相談に対応するため、市町村保健師、社会福祉協議会生活支援相談員及び民生委員児童委員等の戸別訪問を実施しております。戸別訪問について、御意見や御要望はありますか。

1. ある →問 7-5 へ
2. ない

問 7-5 問 7-4 で「1. ある」と答えた方は、内容をご記入ください。

( )

問 7-6 相談支援機関が実施する、地域の相談交流会やサロンなどのイベントに参加したことはありますか。

1. 参加したことがある
2. 参加したことがない →問 7-7 へ

問 7-7 問 7-6 で「2. 参加したことがない」と答えた方の理由は何ですか。(複数回答可)

1. 意欲はあるが、適当な活動がないため
2. 活動場所が遠いため
3. 活動場所までの移動が困難なため
4. 時間が合わないため
5. 参加しても馴染めそうにないため
6. どんな活動があるか分からないため
7. 体調が不安定なため
8. その他 ( )
9. 参加する意向がない

問 7-8 今後、参加したいイベントや相談交流の場などあればご記入ください。

## 8 県内で行っている避難者支援について

問 8-1 避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体等）についてどのように感じていますか。（最もあてはまるもの1つを回答）

1. 評価する
2. どちらかといえば評価する
3. どちらかといえば評価しない
4. 評価しない
5. 支援を受けていないので評価できない

問 8-2 山形県内では、現在さまざまな避難者支援事業を行っております。次にあげる主な避難者支援事業について、見たり、利用したり、参加したことがあるものに○をつけ、その評価について、右欄の該当する箇所に○をつけてください。

事業名	見た、利用した、参加した	評価する	評価しない	どちらともいえない
山形県避難者支援情報メールマガジン				
山形県ホームページ(避難されている皆様へ)				
復興ボランティア支援センターやまがたによる情報提供（うえるかむ、つながろうネットなど）				
山形県から送付された冊子・リーフレット（地域ごとの相談窓口のおしらせなど）				
生活支援相談員による訪問や相談				
避難者交流会（サロンやお茶会など）				
避難者（子育て世帯）交流会（ママカフェなど）				
創作活動を通じた交流会（料理教室、手芸教室など）				
健康相談会（まちの保健室など）				
健康づくり教室（健康体操教室、ヨガ教室など）				

問 8-3 今後、山形県内での避難者への支援として、期待するものをあげてください。(複数回答可)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 生活情報の提供の充実      | 2. 就職に関する情報の提供     |
| 3. 生活資金についての相談     | 4. 住宅に関すること        |
| 5. 心のケア            | 6. 健康増進に関すること      |
| 7. 子育て・教育に関すること    | 8. 高齢者の生活に関すること    |
| 9. 戸別訪問による相談の充実    | 10. 避難者同士の交流に関すること |
| 11. 地域住民との交流に関すること | 12. 各種イベントへの招待     |
| 13. 放射線に関する情報の提供   | 14. 避難元との交通に関すること  |
| 15. 冬の生活に関すること     |                    |
| 16. その他 ( )        |                    |
| 17. 特別な支援は必要ない     |                    |

問 8-4 今後実施してほしい避難者支援事業をご記入ください。

## ■ 自由記入欄

- ・ 避難元に対して山形県から伝えてもらいたいこと
  
- ・ 政府に対して山形県から伝えてもらいたいこと
  
- ・ その他、日頃から感じていることなど

※生活支援相談員等による訪問や連絡を希望される方は、お名前と連絡先をご記入ください。

お名前	
住所及び電話番号	住 所： 電 話：

アンケートにご協力いただきありがとうございました

**発行元 山形県**

山形県防災くらし安心部 防災危機管理課  
復興・避難者支援室

〒990-8570 山形県山形市松波二丁目 8-1  
電話 023-630-3100